

フーゴR3台用

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

-  **警告** ・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

-  **お願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

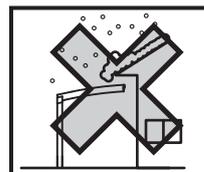
ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1-1、1-2、2-3等)
締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- 積雪（新雪）20cm（600N/m²）を超えない地域に設置してください。
- 建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- 給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- 一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行なってください。



基礎工事について

注意

- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。
- 基礎の大きさ、基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 施工取り付けに関しては、メーカー標準の基礎寸法や、使用材料の規定が必ずしも現地に当てはまるものではありません。性能・機能を発揮するためには、現地の条件に応じた判断と施工が必要です（堅牢な地盤、軟弱な地盤など現地判断が必要です）。
- 本書の基礎サイズは地耐力を100として記載しております。地耐力が異なる場合は基礎サイズが変わるため、カタログ「カーポート建築基準法対応商品」をご参照下さい。

お願い

- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

施工上のご注意

注意

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。

※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)	※M8ボルト：20.0N・m±0.5N・m (200±5kgf・cm)
※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m (30±5kgf・cm)	※M10ボルト：34.0N・m±0.5N・m (340±5kgf・cm)

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
ダウ・東レ(株)	SE960

□ 施工上のご注意

💡 お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
 - 特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 製品についての汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

□ 施工の後に

⚠ 注意

- ボルト、ネジを増し締めしてください。ただし、緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

💡 お願い

- 取扱説明書は施主様にお渡しください。

□ 表示マーク



独立基礎で
施工の場合



土間コンクリートで
施工の場合



偏心基礎部材を使用して
施工する場合



柱位置を移動して
施工する場合



OP
オプション製品

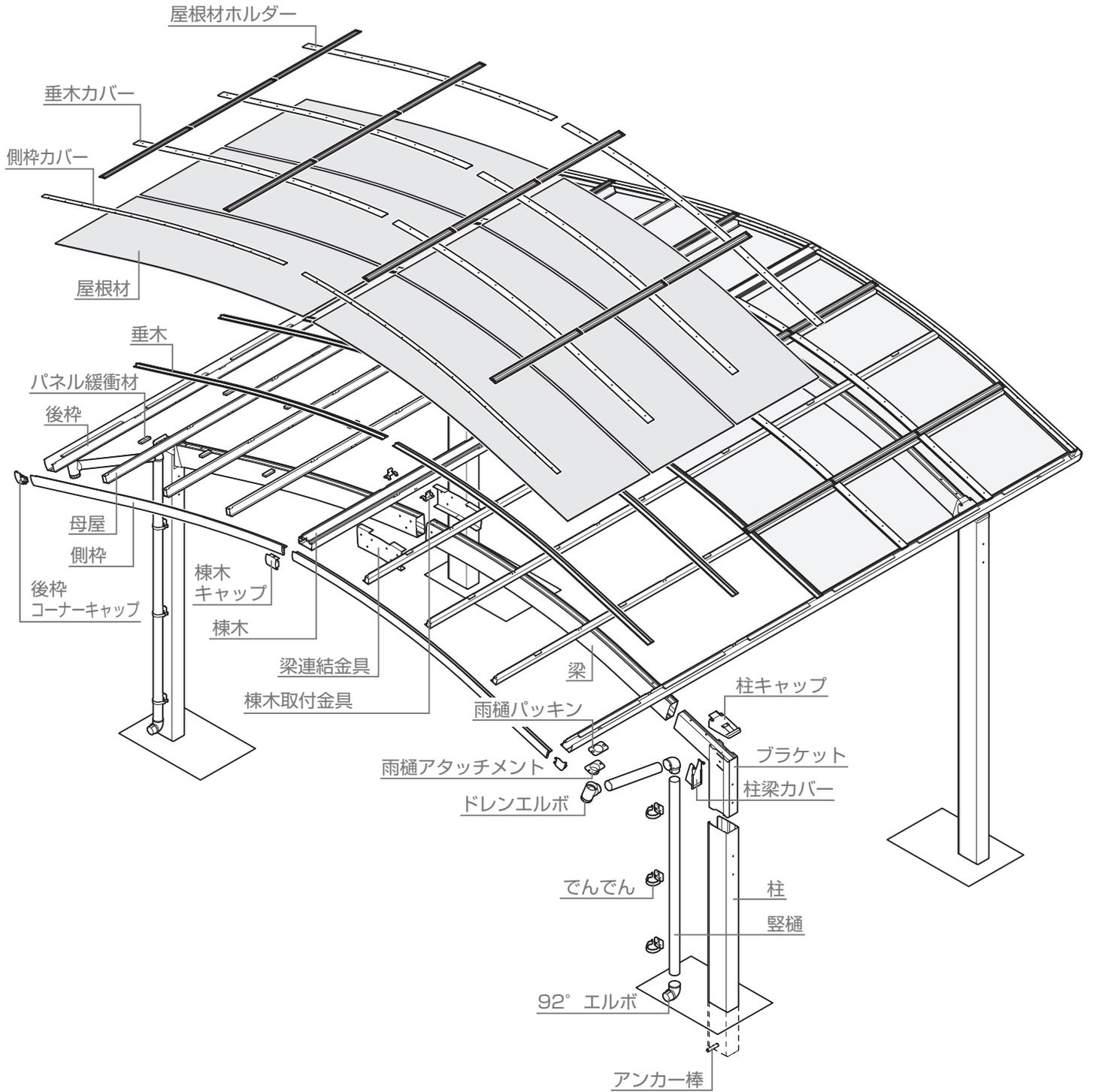


シーリング箇所

目次

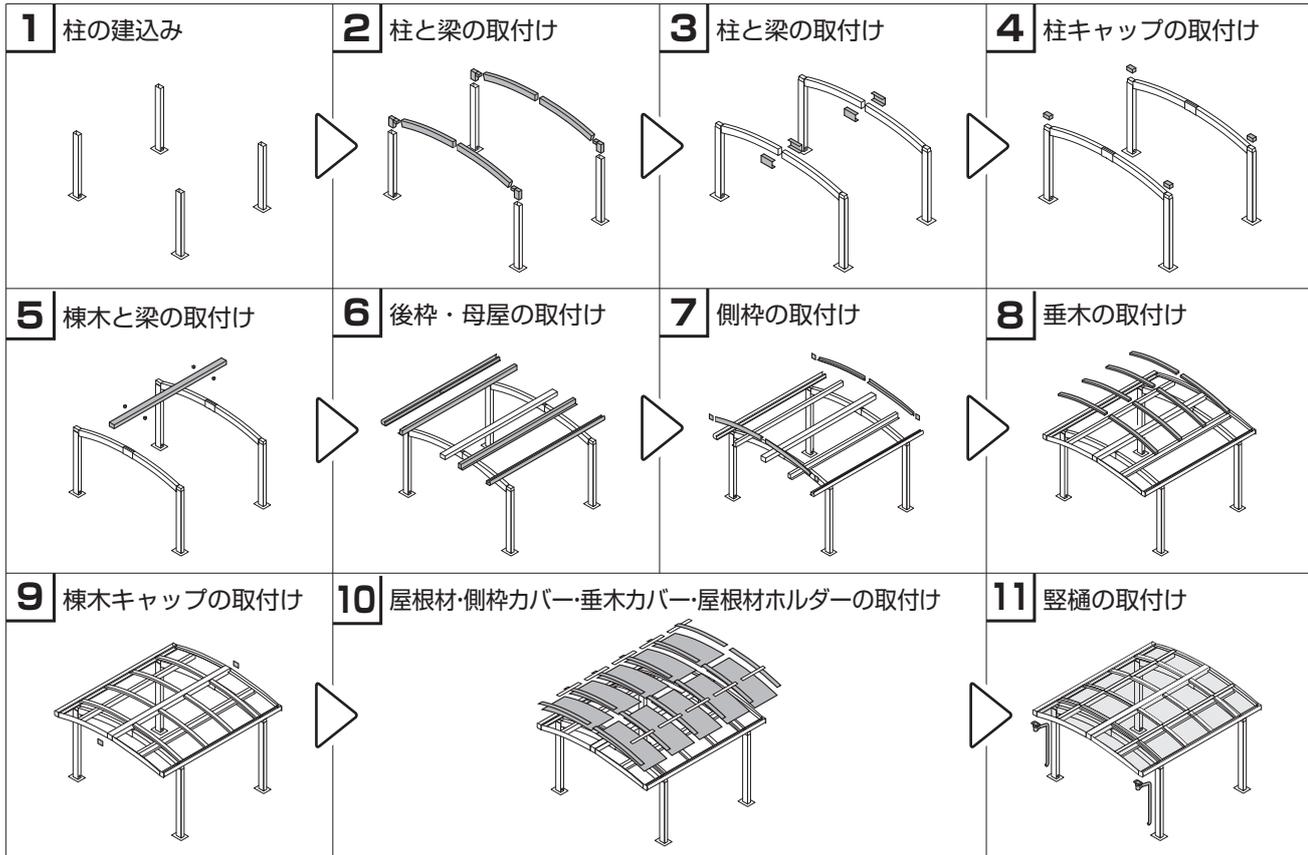
各部名称	4	1-8 後枠・母屋の取付け	13
1 基本タイプの施工方法	5	1-9 対角寸法の確認	14
1-1 施工の流れ	5	1-10 側枠の取付け	15
1-2 確認事項	6	1-11 垂木の取付け	17
1-3 基礎寸法の確認	7	1-12 棟木キャップの取付け	17
1-4 柱の建込み	8	1-13 屋根材の取付け	18
1-5 柱と梁の取付け	9	1-14 縦樋の取付け	26
1-6 部材の加工	11	梱包明細表	27
1-7 棟木の取付け	12		

各部名称



1 基本タイプの施工方法

1-1 施工の流れ



1 基本タイプの施工方法

1-2 確認事項

1-2-1 姿図

注意



柱位置を移動して
施工の場合

- 柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

お願い

- 構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- 柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。

補足

- 印は【柱移動】範囲を示します。

ロング
ロング柱

▼ ロング柱の場合 ▼

- H寸法(※)に+300してください。

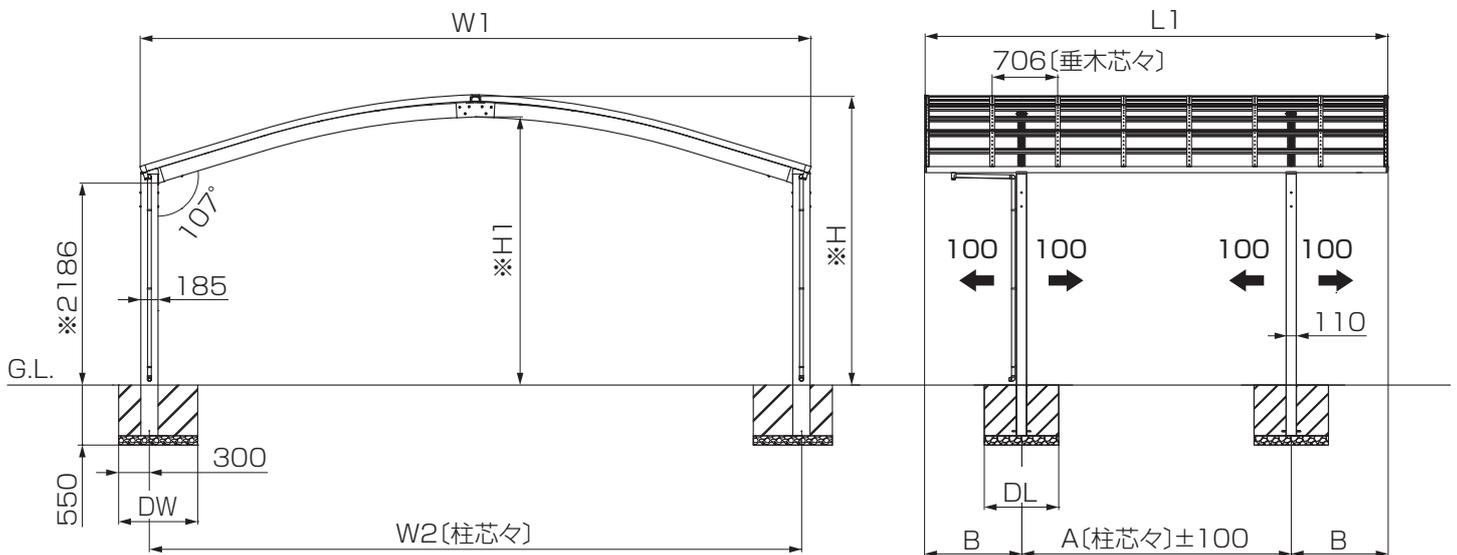
H28
H28柱

▼ H28柱の場合 ▼

- H寸法(※)に+600してください。

間口	W1	W2	H	H1
W72	7207	7009	3133	2905
W80	8007	7809	3255	3027

奥行	L1	A	B
L50	4980	2900	1040
L57	5686	3300	1193



1-2-2 基礎の墨出し

1: 柱の埋込み位置を出す

2: 基礎穴を掘る

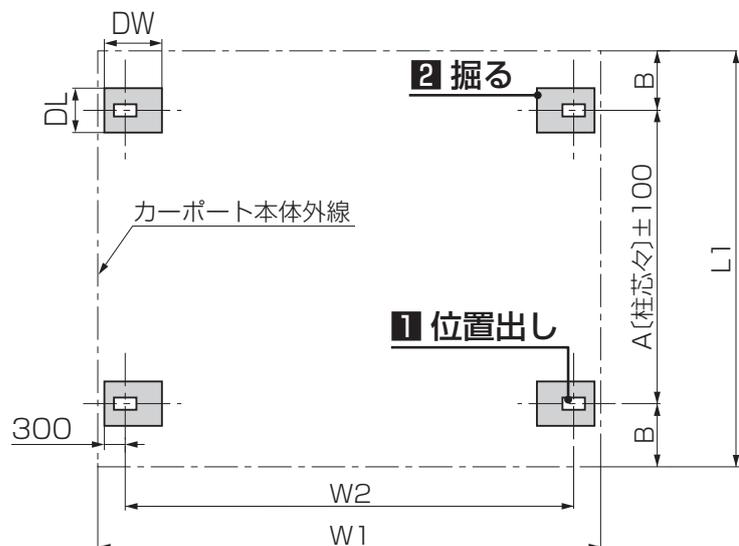


▼ 基礎寸法数値について ▼
基礎寸法「DW」「DL」は「P.7」を参照してください。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

- 【カーポートライト】
「エスコートスポットライト 取付説明書 (Z542)」
「カーポートライト用台座セット 取付説明書 (Z545)」
- 【コンセントフレーム】
「コンセントフレーム 取付説明書 (D499)」



1 基本タイプの施工方法

1-3 基礎寸法の確認

基礎寸法表

1:基礎穴寸法を確認する

<地耐力100kN/m²の場合>

サイズ (間口)	独立基礎寸法		土間併用基礎	
	DW	DL	DW	DL
W72	750	700	500	400
W80	800	800	500	400

独立基礎

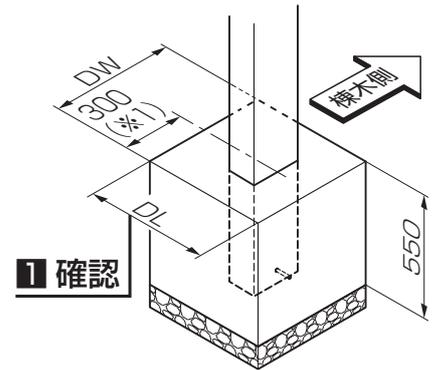


独立基礎
仕上げの場合

1:基礎穴寸法を確認する

補足

- (※1) は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法です。



土間併用基礎

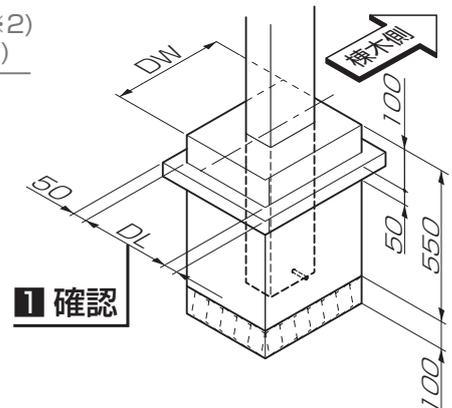
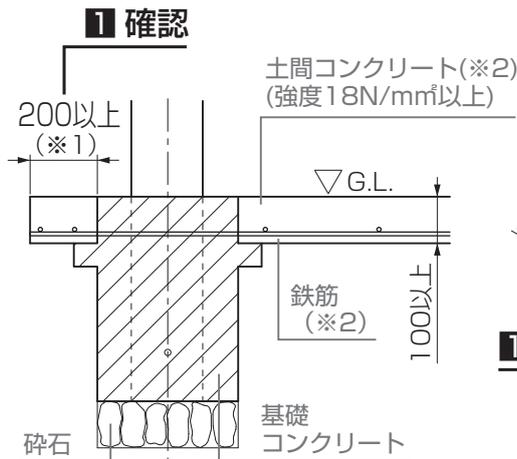


土間コンクリート
仕上げの場合

1:基礎穴寸法を確認する

お願い

- 基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。(※1)
- 土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。(※2)



偏心基礎



偏心基礎部材を
取付ける場合

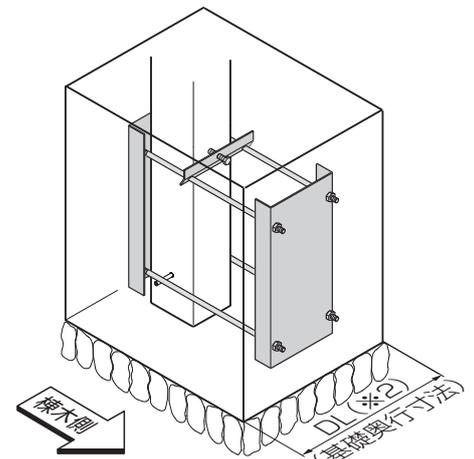
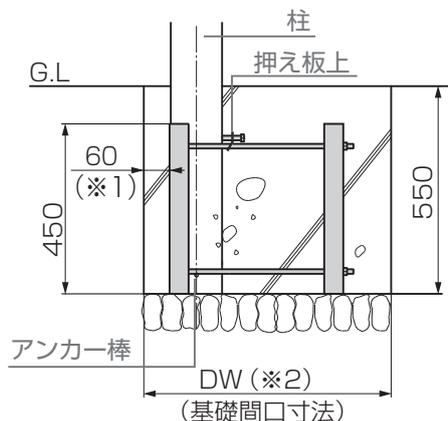
1:基礎穴寸法と偏心基礎寸法を確認する

補足

- (※1) はタテ材Aの外側から基礎端面までの寸法です。
- (※2) は独立基礎と同じ寸法になります。



組立て方法、基本寸法については【偏心基礎部材 取付説明書(D349)】も参照してください。



1 基本タイプの施工方法

1-4 柱の建込み

1-4-1 柱の建込みの準備

1: 柱にアンカー棒を取付け

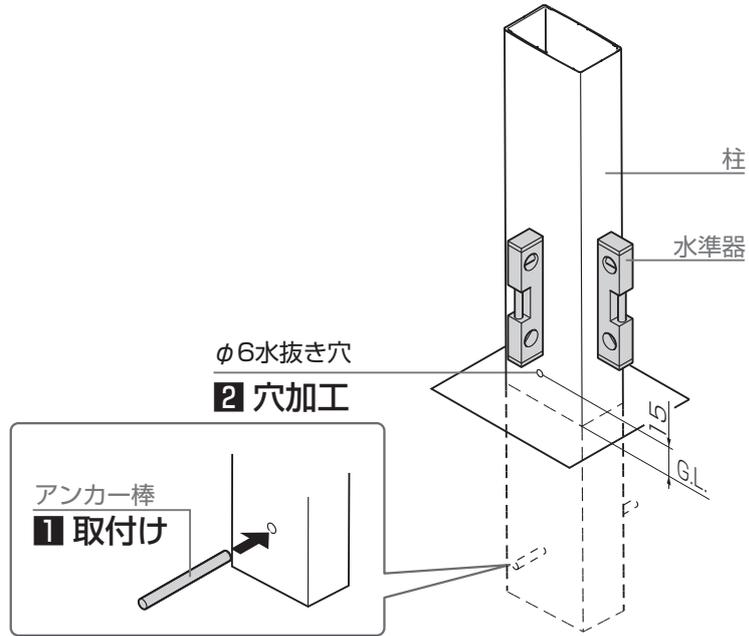
2: 柱にφ6の水抜き穴加工

注意

- 水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。

お願い

- 柱の垂直を確認してください。

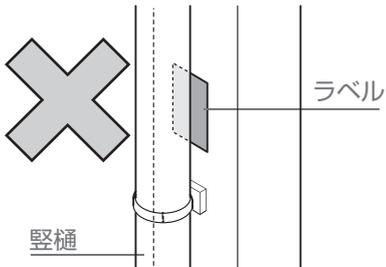


1-4-2 柱の建込み

1: 柱を建込み

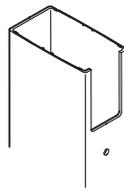
注意

- 柱を建てこむ際は「使用上の注意」ラベルが、竖樋でかくれぬように柱を建込んでください。

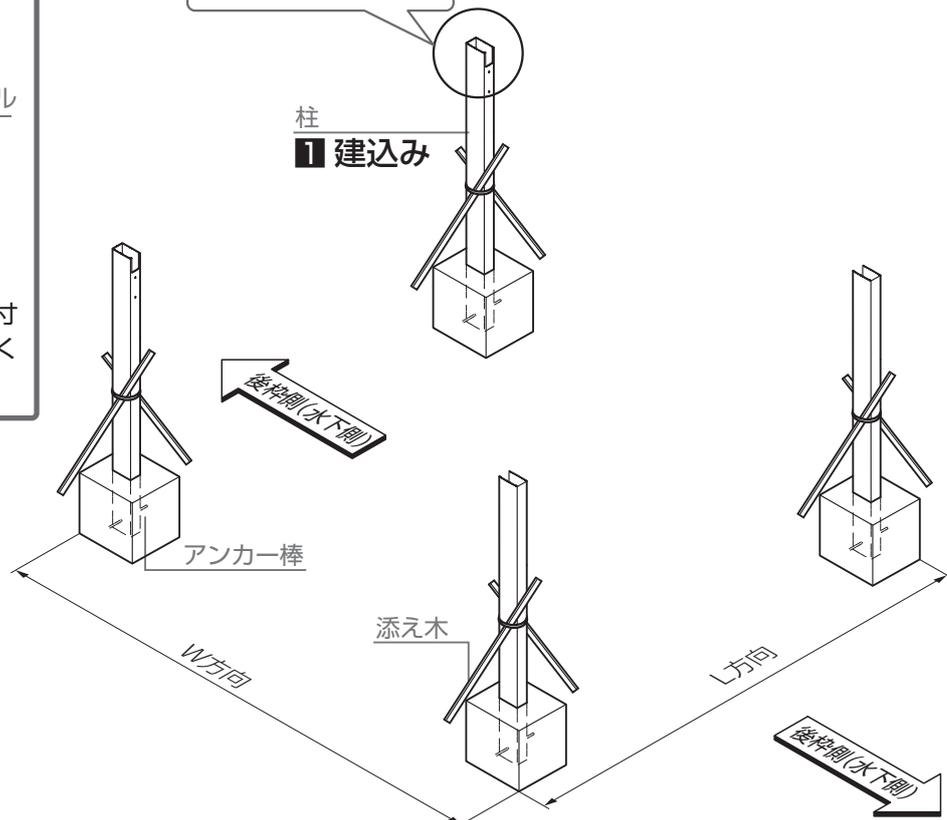


- 基本寸法を確認して柱の対角寸法、ピッチ、垂直を確認してください。

●柱の向き確認



1 建込み



1 基本タイプの施工方法

1-5 柱と梁の取付け

1-5-1 柱と梁の取付け

お願い

●緩み止め硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。(締め付け後、約24時間で硬化します。)

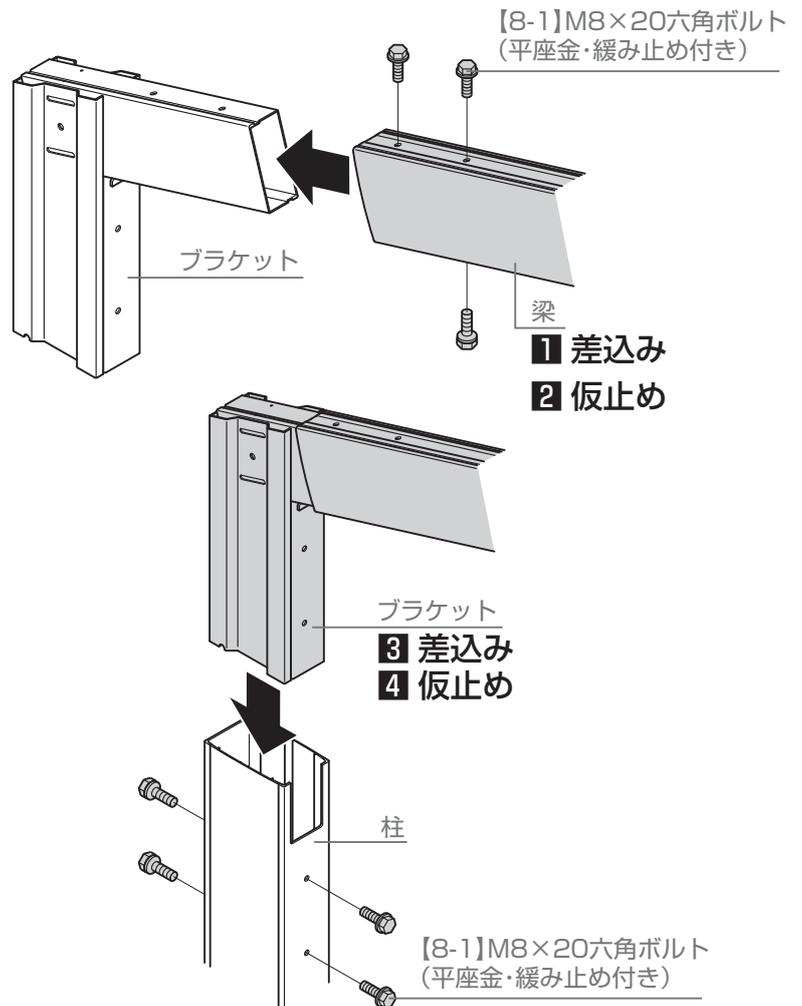
- 1: 梁をブラケットに差込み
- 2: 梁をブラケットに【8-1】で仮止め

- 3: ブラケットを柱に差込み
- 4: ブラケットを柱に【8-1】で仮止め



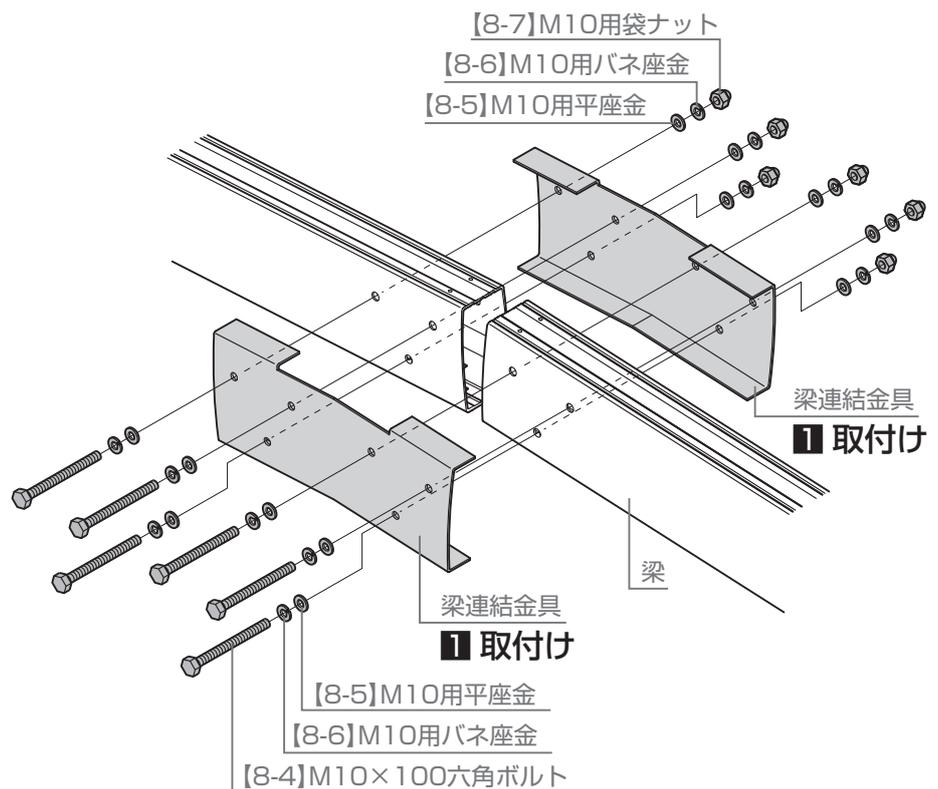
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

【物干しセット】
「物干しセット 取付説明書 (D610)」



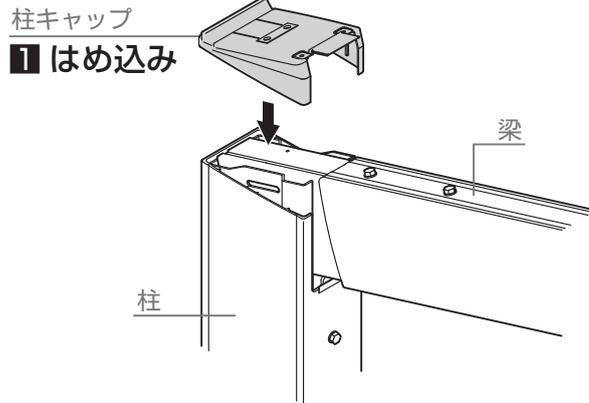
1-5-2 梁の連結

- 1: 梁連結金具を梁に【8-4】、【8-5】、【8-6】、【8-7】で取付け



1-5-3 柱キャップの取付け

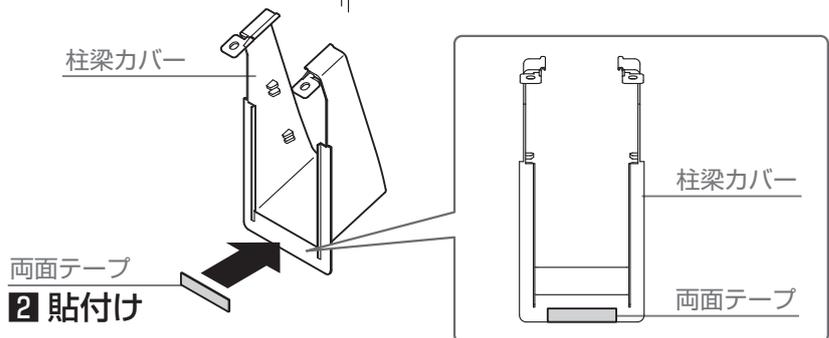
1: 柱キャップを柱にはめ込み



2: 両面テープを柱梁カバーに貼付け

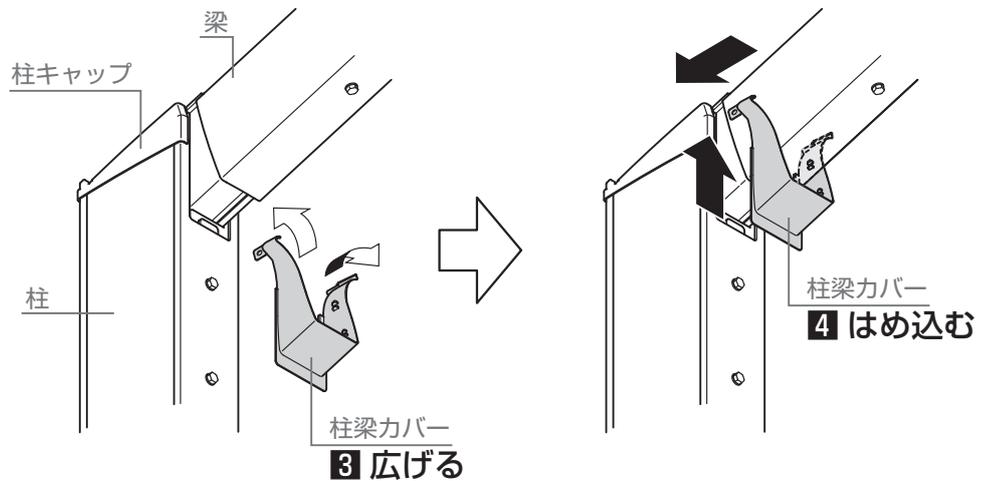
お願い

- 両面テープは柱梁カバー下部合せ、左右中央に貼付けてください。



3: 柱梁カバーを広げる

4: 柱梁カバーをはめ込む

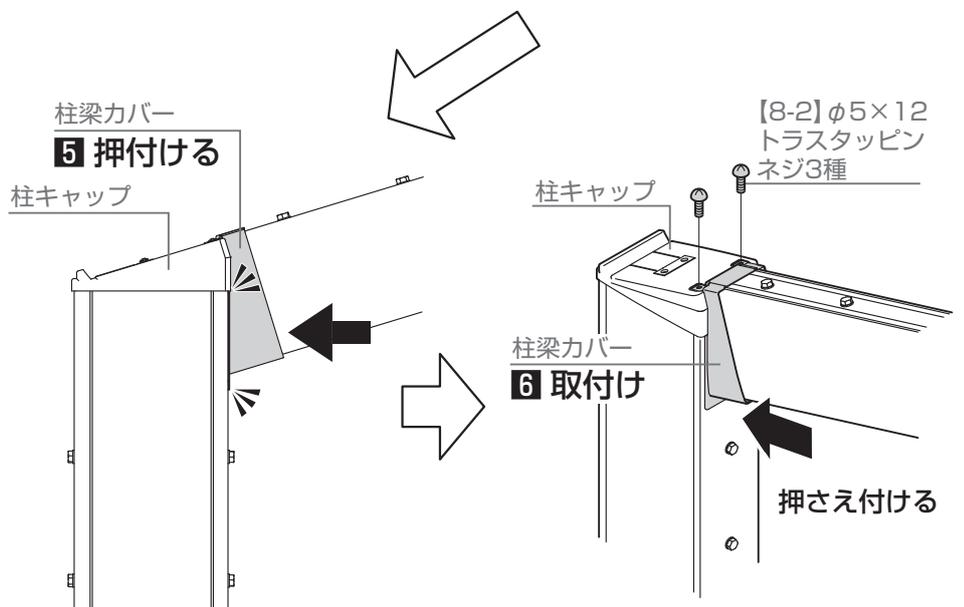


5: 柱梁カバーを柱に押付ける

6: 柱梁カバーを柱キャップに【8-2】で取付け

補足

- 取付け後、両面テープ部分を押しあててください。
- この段階では、柱キャップ・柱梁カバーは多少ガタツキます。



1 基本タイプの施工方法

1-6 部材の加工

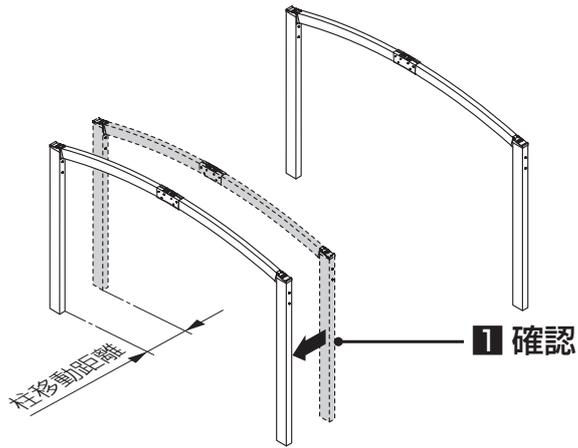


▼ 柱位置を移動して
施工の場合 ▼

1: 柱移動距離を確認

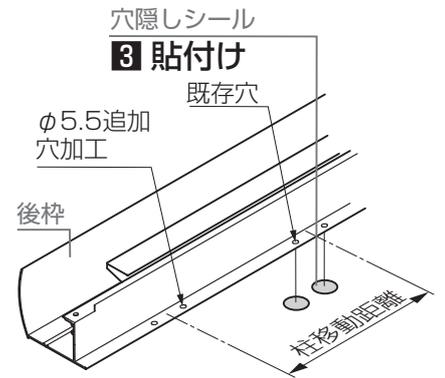
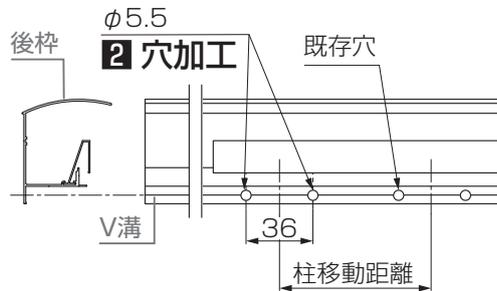
お願い

- 柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。



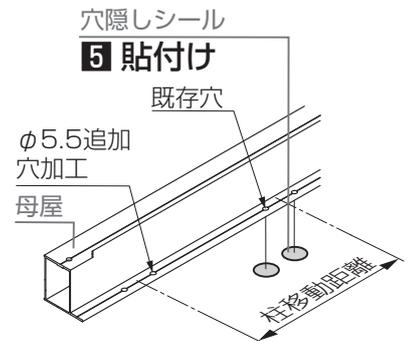
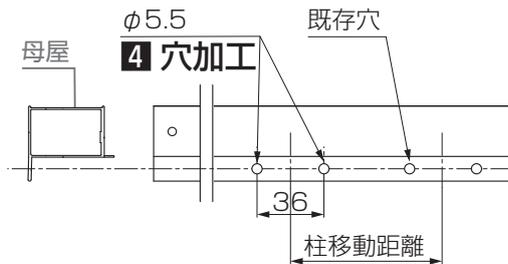
2: 後枠にφ5.5の穴加工

3: 既存穴に穴隠しシールを貼付け



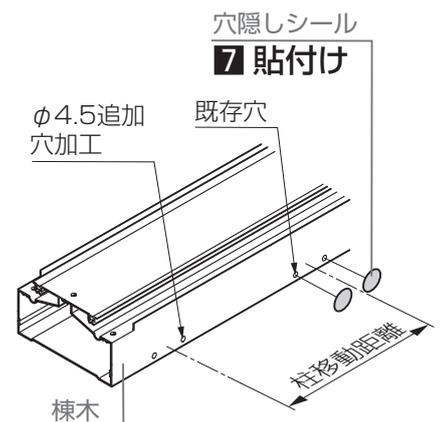
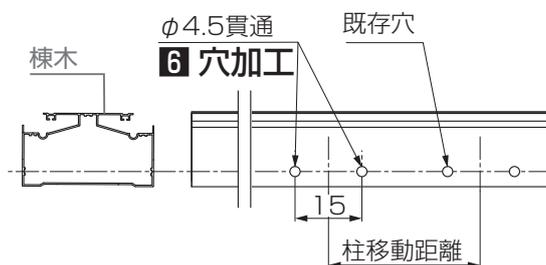
4: 母屋にφ5.5の穴加工

5: 既存穴に穴隠しシールを貼付け



6: 棟木にφ4.5の穴加工

7: 既存穴に穴隠しシールを貼り付け



1 基本タイプの施工方法

1-7 棟木の取付け

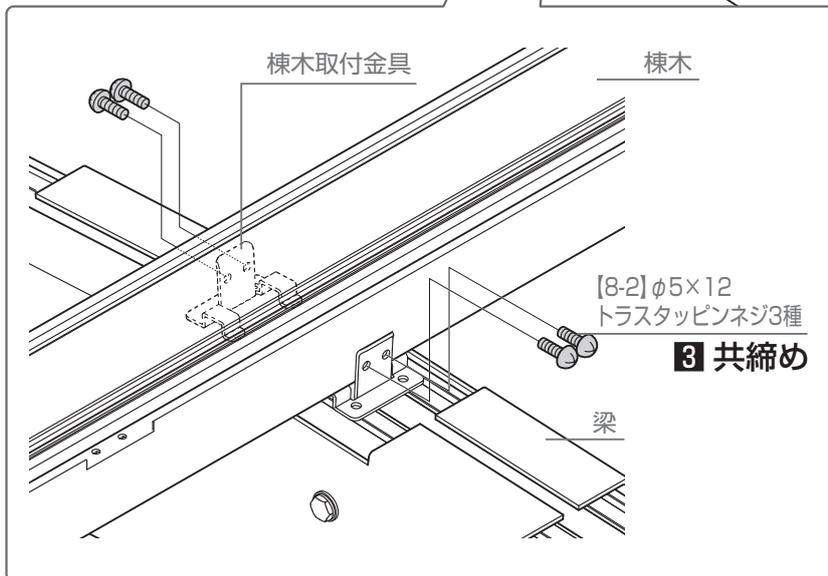
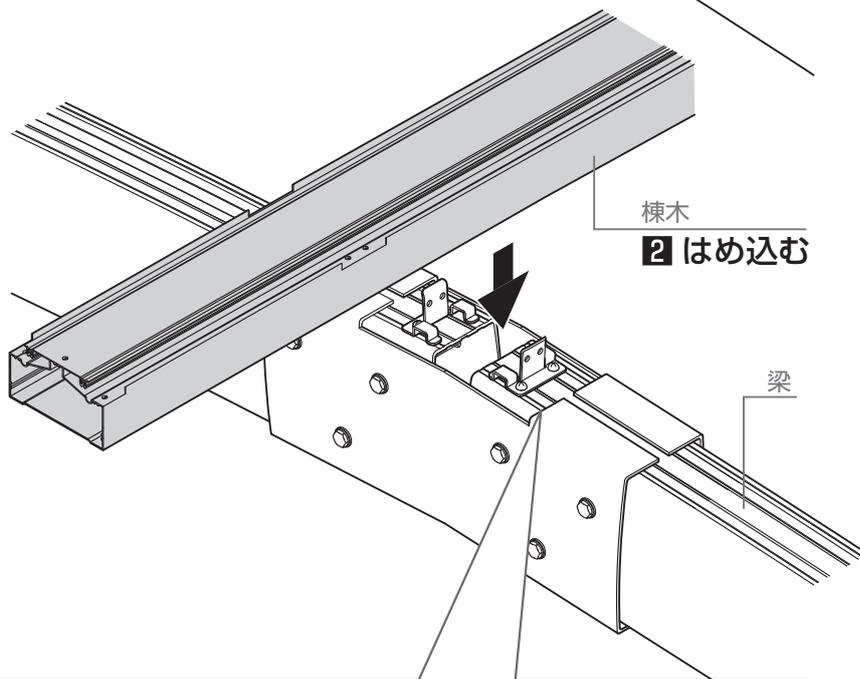
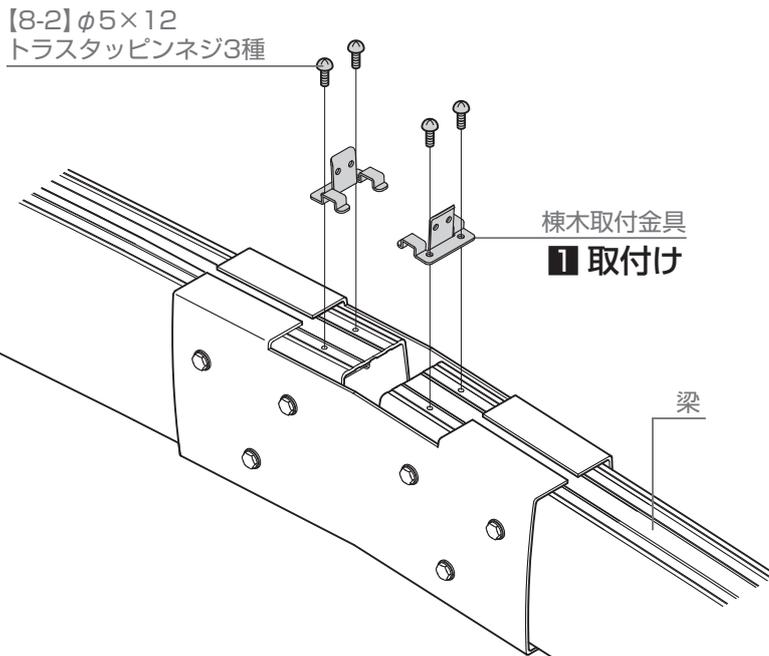
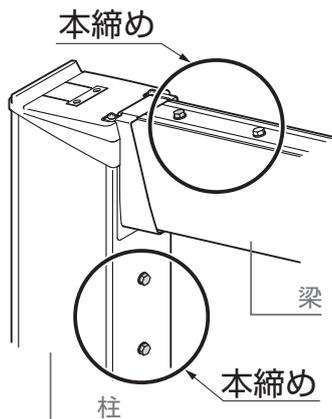
1: 棟木取付金具を梁に【8-2】で取付け

2: 棟木を棟木取付金具にはめ込む

3: 棟木と棟木取付金具を【8-2】で共締め

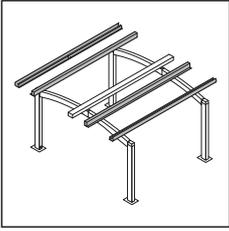
お願い

- 棟木と梁の組付けが終わったら【1-5-1|柱と梁の取付け】で仮止めたネジを本締めしてください。



1 基本タイプの施工方法

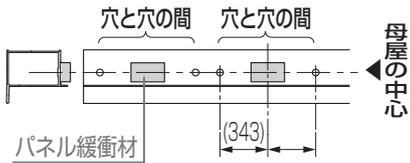
1-8 後枠・母屋の取付け



1: パネル緩衝材を母屋に貼付け

お願い

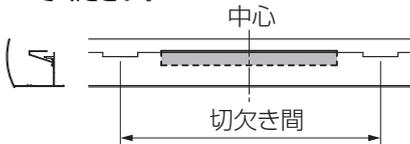
- パネル緩衝材は下図の位置に貼付けてください。



2: 後枠を柱キャップに【8-2】で取付け

お願い

- 屋根材受けを下図の位置に移動させてください。

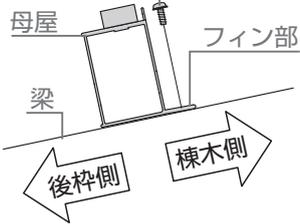


3: 母屋を梁に【8-2】で取付け

お願い

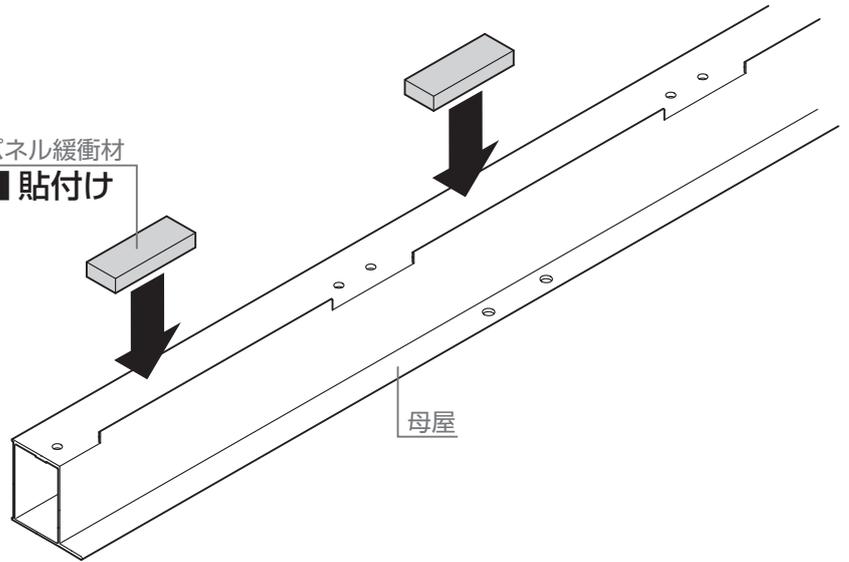
- 母屋のフィン、棟木側に向けてください。

【8-2】φ5×12
トラスタッピンネジ3種



パネル緩衝材

1 貼付け

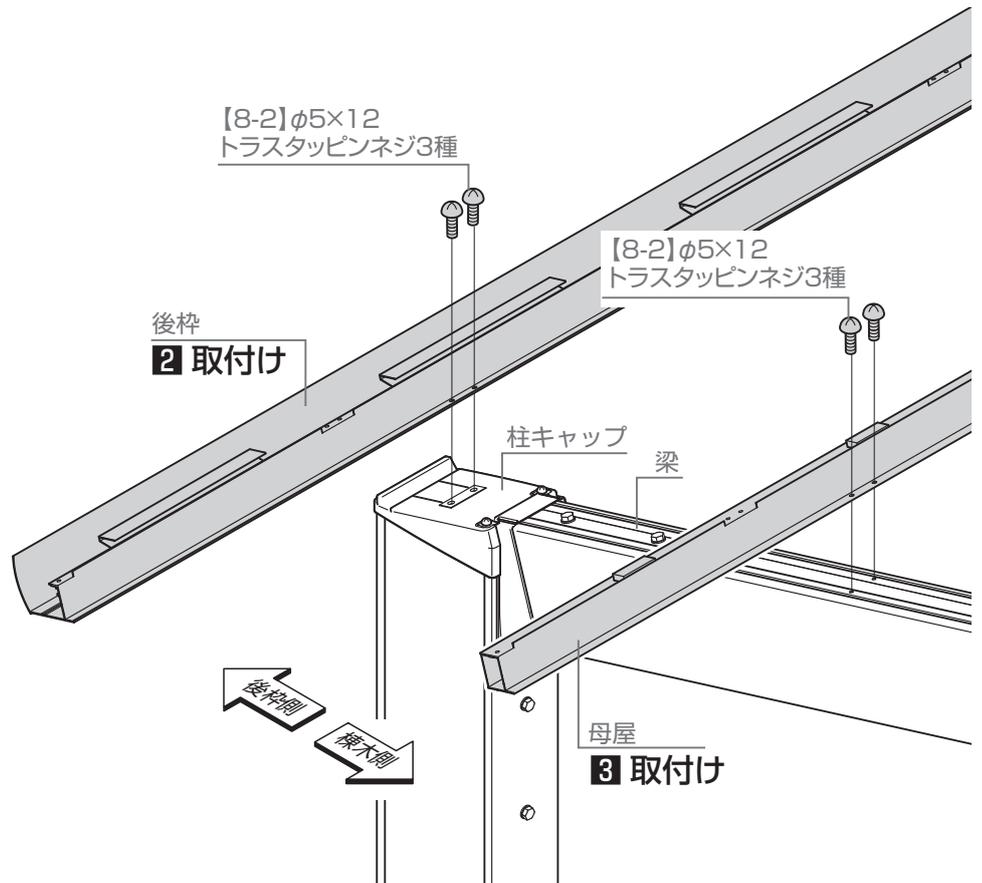


【8-2】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

後枠

2 取付け

【8-2】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

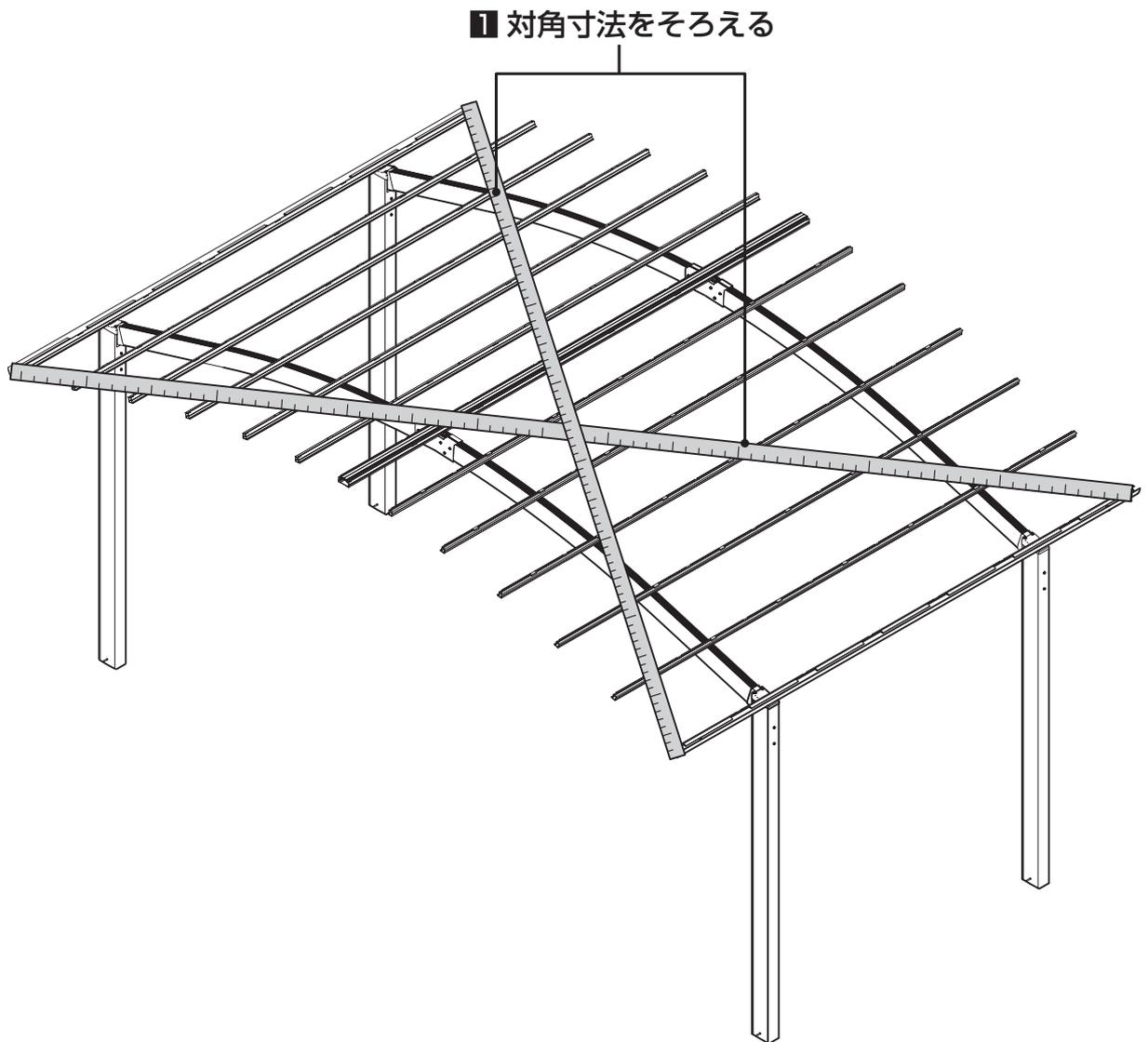


3 取付け

1 基本タイプの施工方法

1-9 対角寸法の確認

1: 屋根枠まわりの対角寸法をそろえる



1 基本タイプの施工方法

1-10 側枠の取付け

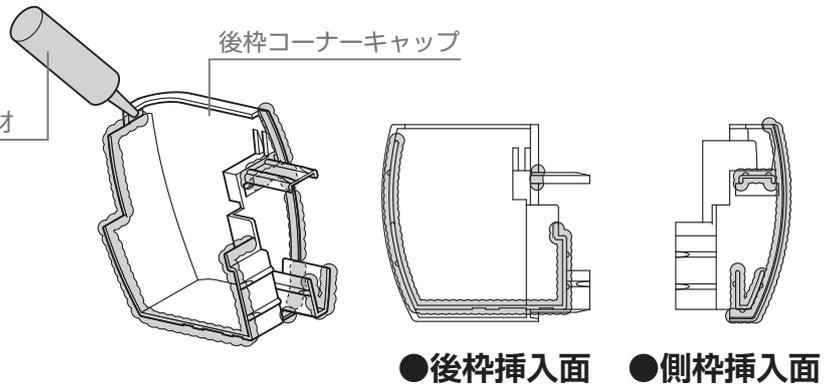
1-10-1 後枠コーナーキャップのはめ込み

1: 後枠コーナーキャップにシーリング材を塗布



シーリング材

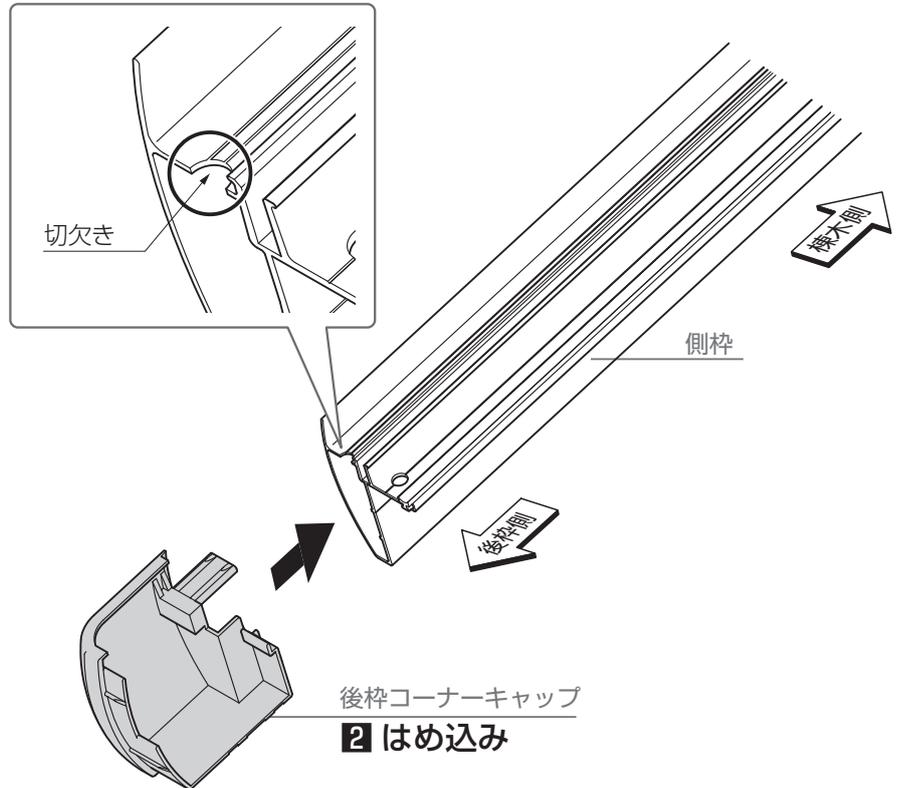
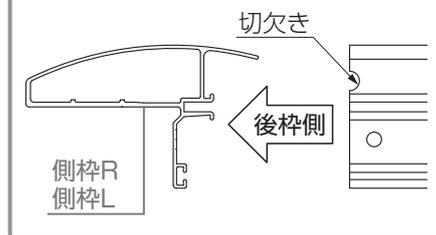
1 塗布



2: 後枠コーナーキャップを側枠にはめ込み

お願い

- 側枠R・側枠Lには左右があります。切り欠きが入っている方を後枠側にしてください。

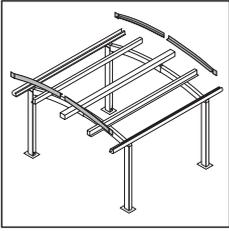


1 基本タイプの施工方法

1-10 側枠の取付け

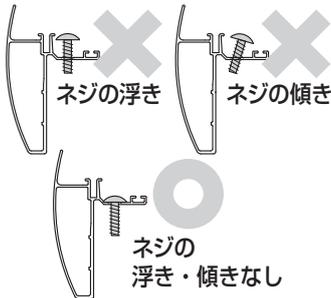
つづき

1-10-2 側枠の取付け



お願い

- 取付けの際はネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



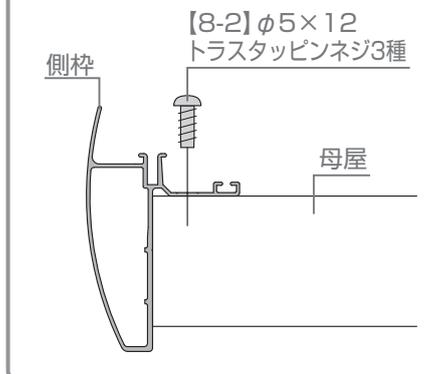
- 1: 側枠を後枠に差し込み

- 2: 側枠を後枠に【8-2】で取付け

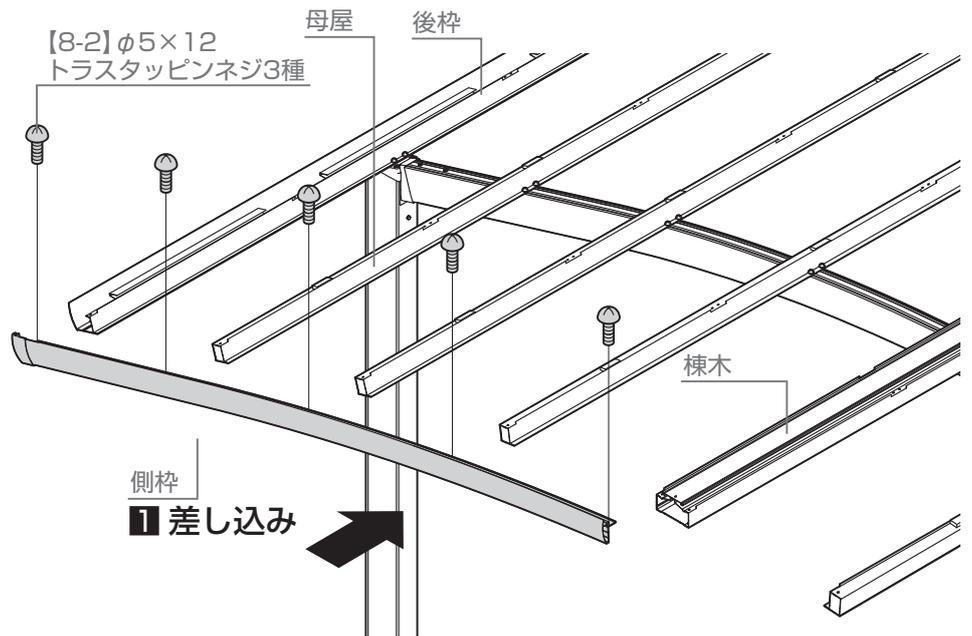
- 3: 側枠を母屋に【8-2】で取付け

補足

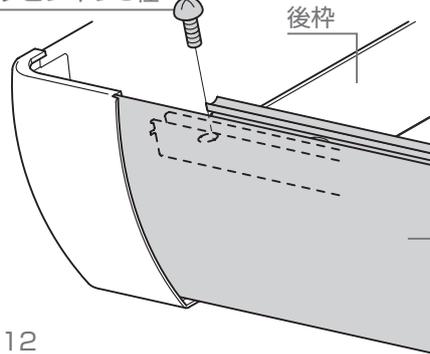
- 母屋は側枠の下に設置して取付けてください。



- 4: 側枠を棟木に【8-2】で取付け

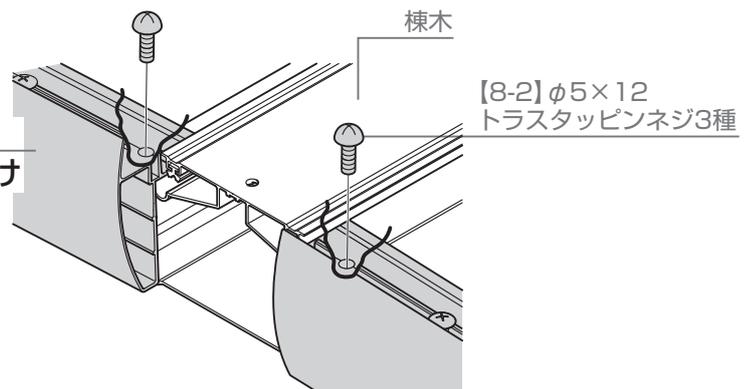
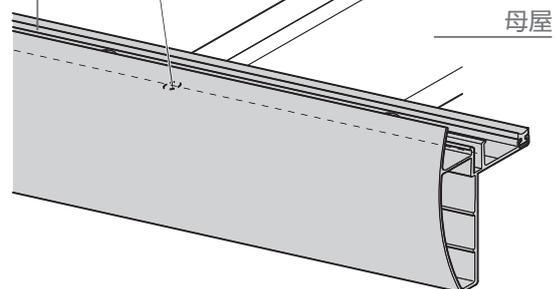


[8-2] φ5×12
トラスタッピンネジ3種



[8-2] φ5×12
トラスタッピンネジ3種

3 取付け

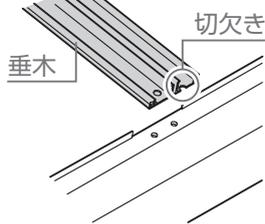


1 基本タイプの施工方法

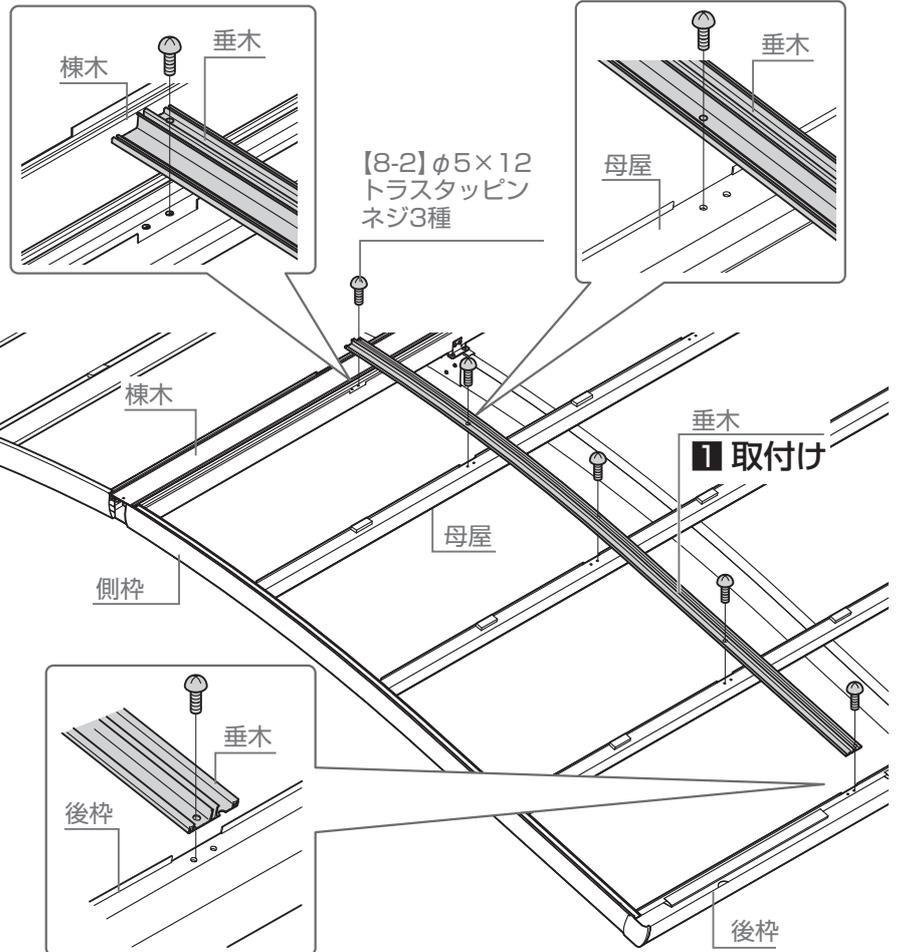
1-11 垂木の取付け

お願い

- 垂木の切欠きを後枠側にしてください。



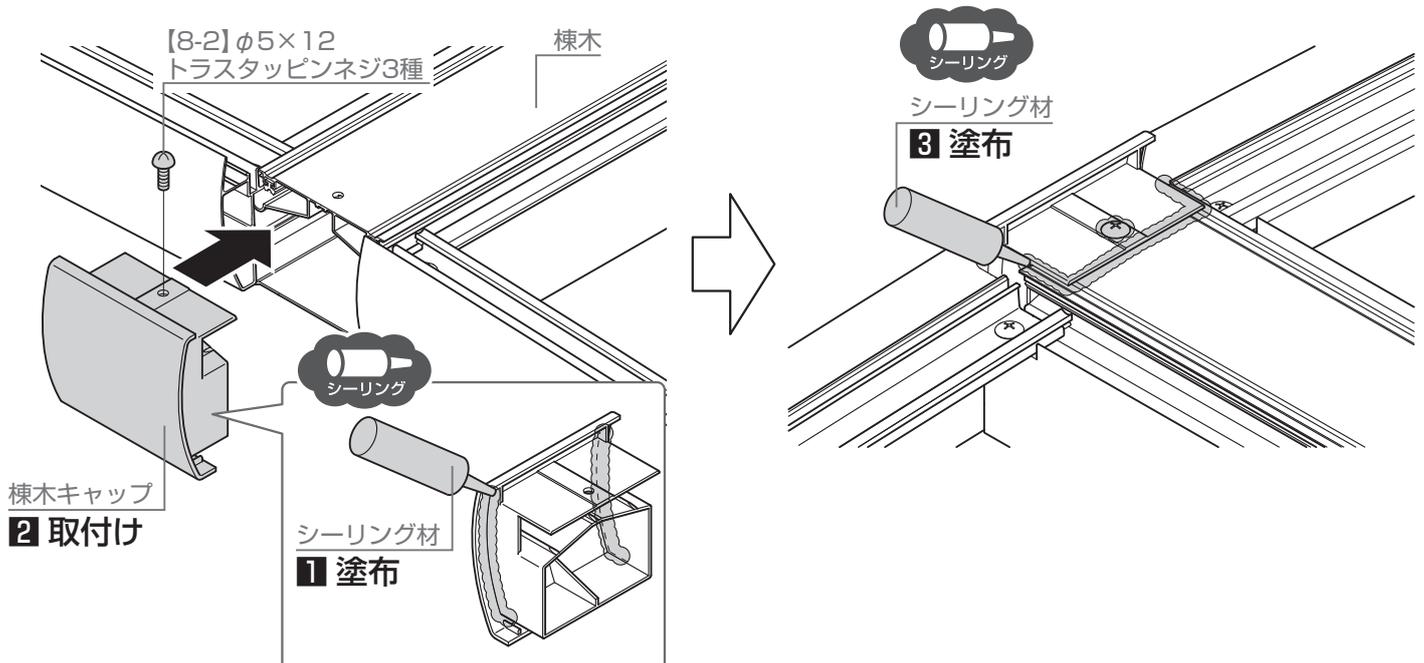
- 取付けの際はネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



- 1: 垂木を棟木・後枠・母屋に【8-2】で取付け

1-12 棟木キャップの取付け

- 1: 棟木キャップにシーリングを塗布
- 2: 棟木キャップを棟木に【8-2】で取付け
- 3: 棟木キャップと棟木の接続部と【8-2】のネジ頭にシーリングを塗布



1 基本タイプの施工方法

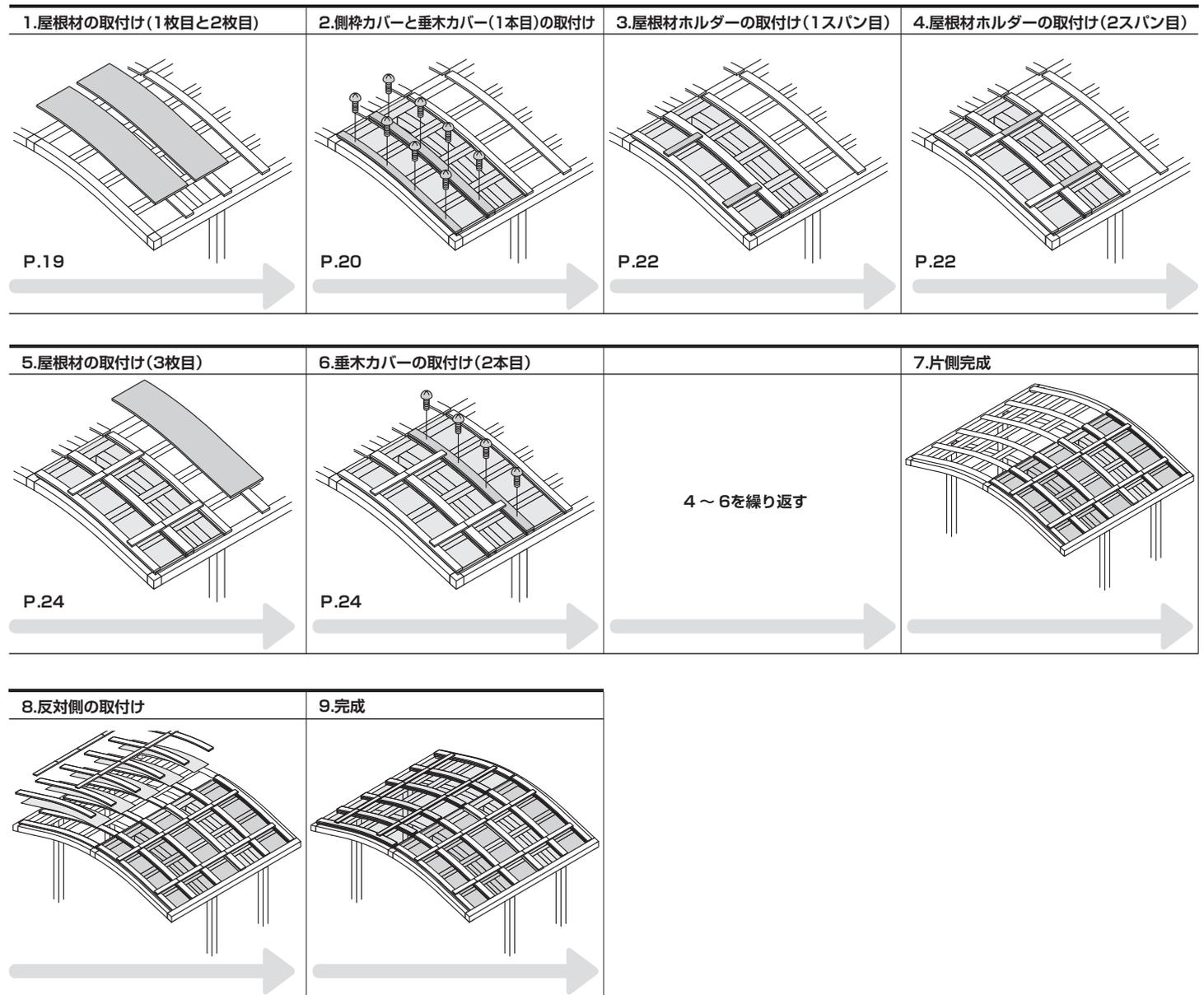
1-13 屋根材の取付け

1-13-1 屋根材の取付け順番の確認

お願い

●屋根材1枚セットする度に、垂木カバーと屋根材ホルダーのかみ合わせ部を施工してください。

P.22 屋根材ホルダーの取付位置の詳細は【P.22】を参照してください。



お願い

●屋根材は必ず手順に従って施工してください。

1 基本タイプの施工方法

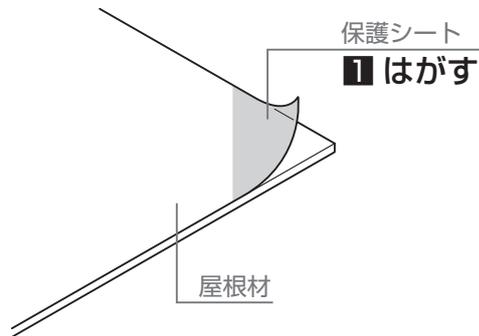
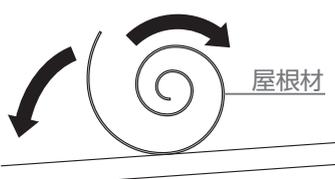
1-13 屋根材の取付け

1-13-2 屋根材の取付け(1枚目と2枚目)

1: 屋根材の保護シートをはがす

お願い

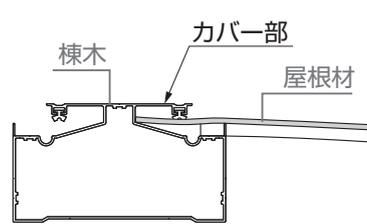
- 屋根材は表裏を確認し、取付けてください。
- 屋根材は屋根部の上で下記のように広げてください。



2: 屋根材を棟木に差込む

お願い

- 棟木のカバー部に屋根材を差込んでください。



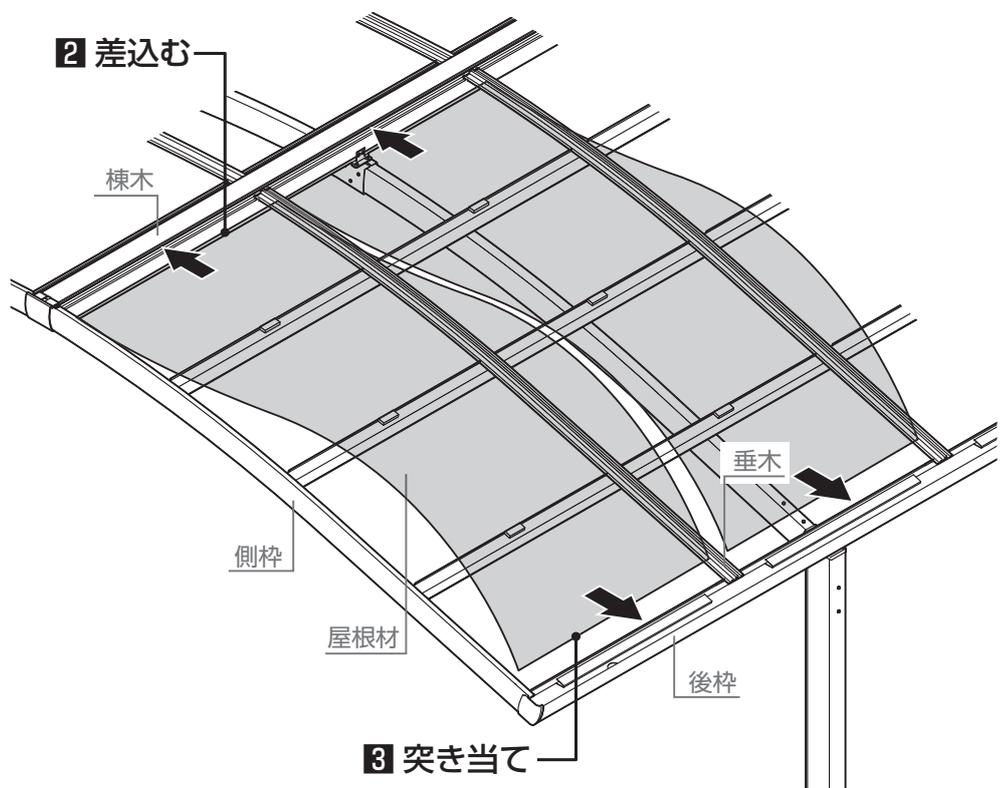
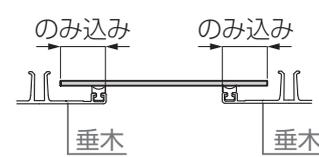
3: 屋根材を後枠の屋根材受けに突き当て

お願い

- 屋根材は屋根材受けに突き当ててください。



- 垂木部へののみ込み寸法は、左右均等にしてください。



補足

- 反対側の屋根材も同様の手順で取付けてください。

1 基本タイプの施工方法

1-13 屋根材の取付け

1-13-3 側枠カバーと垂木カバー（1本目）の取付け

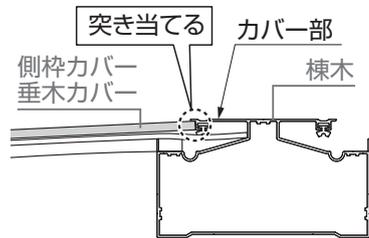
- 1: 側枠カバーを側枠に【8-2】で取付け
- 2: 垂木カバーを垂木に【8-2】で取付け

お願い

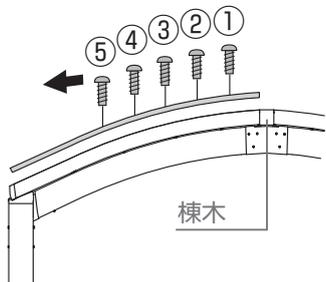
- 取付けの際はネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



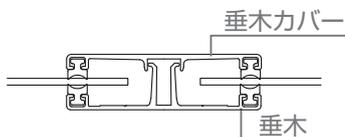
- 棟木に突き当てて取付けてください。



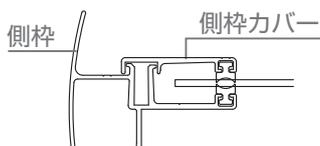
- 【8-2】は棟木側から取付けてください。



- 垂木と垂木カバーがかみ合っていることを確認してください。

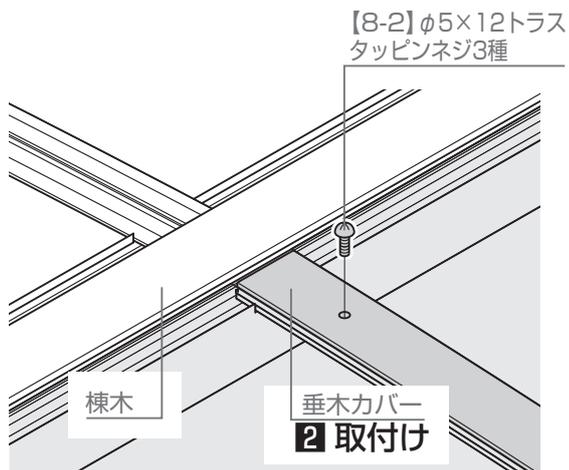
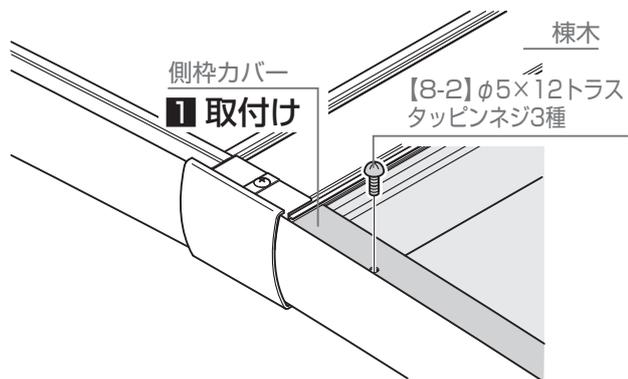
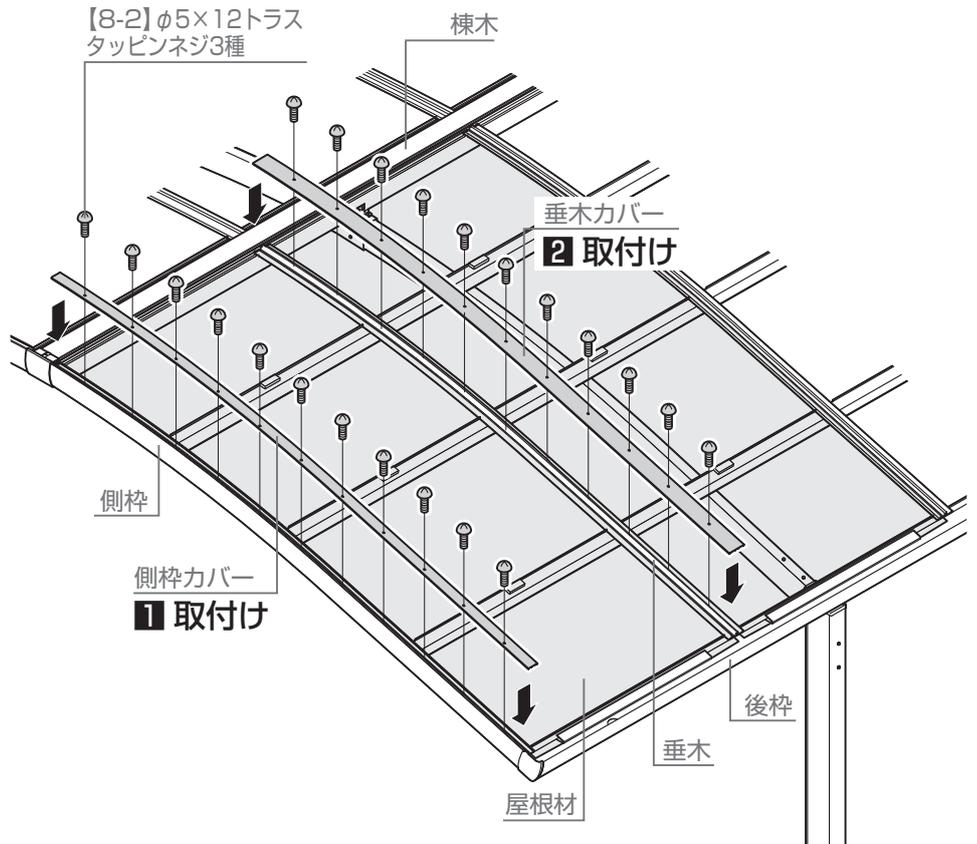


- 側枠と側枠カバーがかみ合っていることを確認してください。



補足

- 反対側の側枠カバー、垂木カバーも同様の手順で取付けてください。



1 基本タイプの施工方法

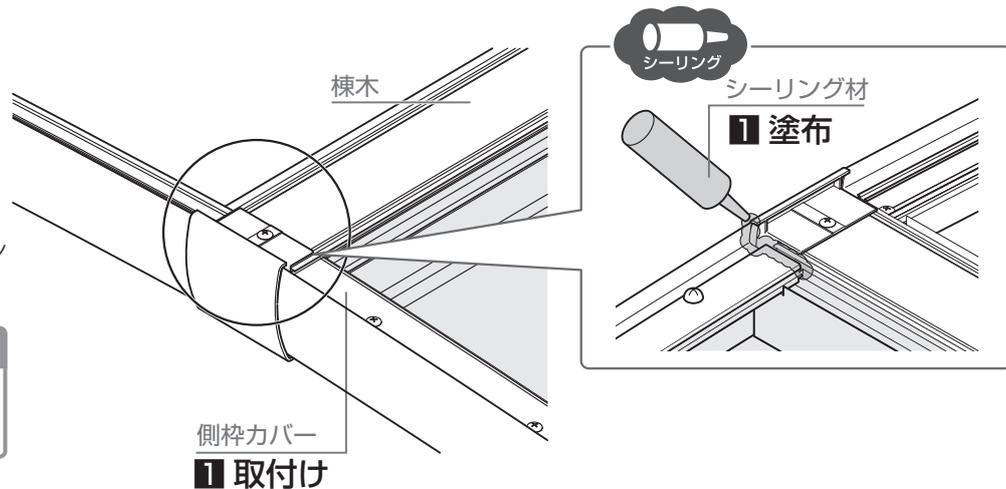
1-13 屋根材の取付け

1-13-4 側枠カバーと垂木カバー(1本目)のシーリング

1: 側枠カバーと棟木接合部にシーリングを塗布

お願い

- ビードの端部はシーリングが浮きやすいので注意してください。



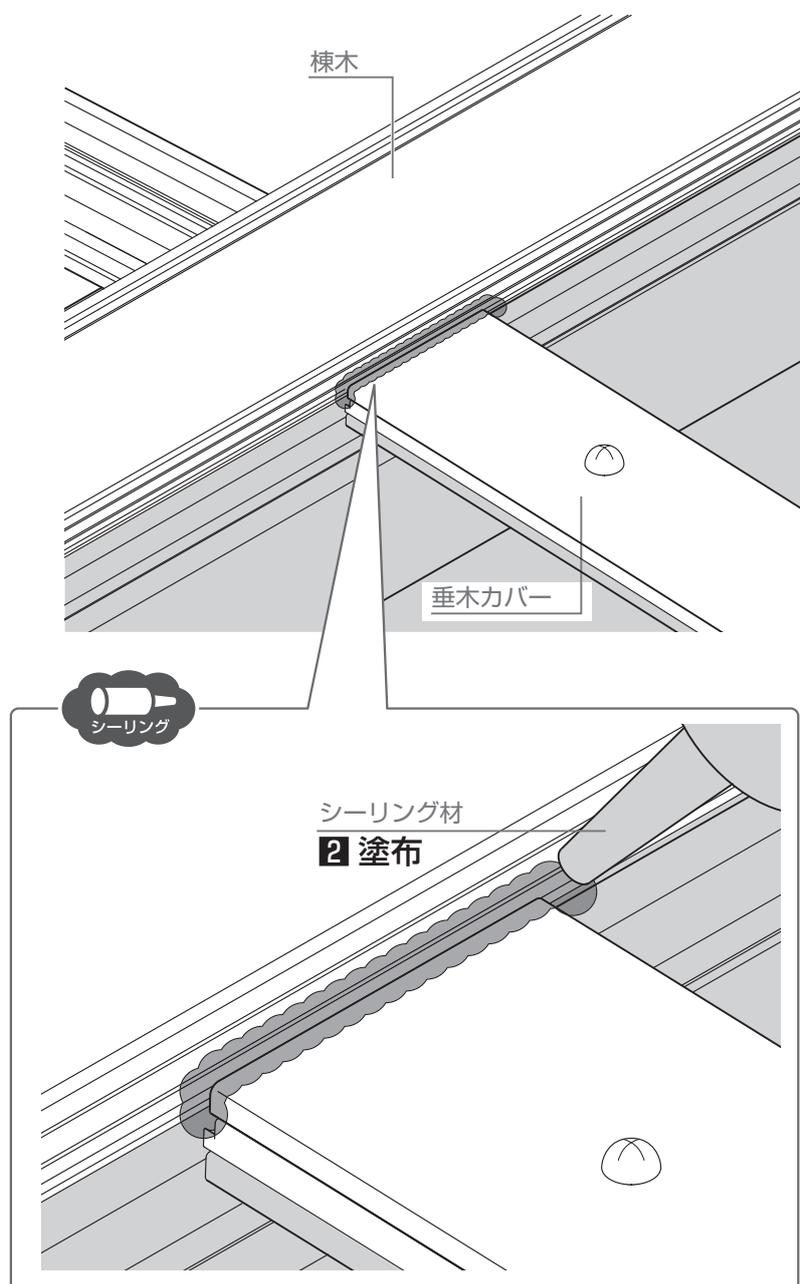
2: 垂木カバーと棟木接合部にシーリングを塗布

お願い

- シーリングはヘラ等で確実に押さえてください。
- パネルまでシーリングが届いているようにしてください。

補足

- 反対側も同様の手順でシーリングしてください。



1 基本タイプの施工方法

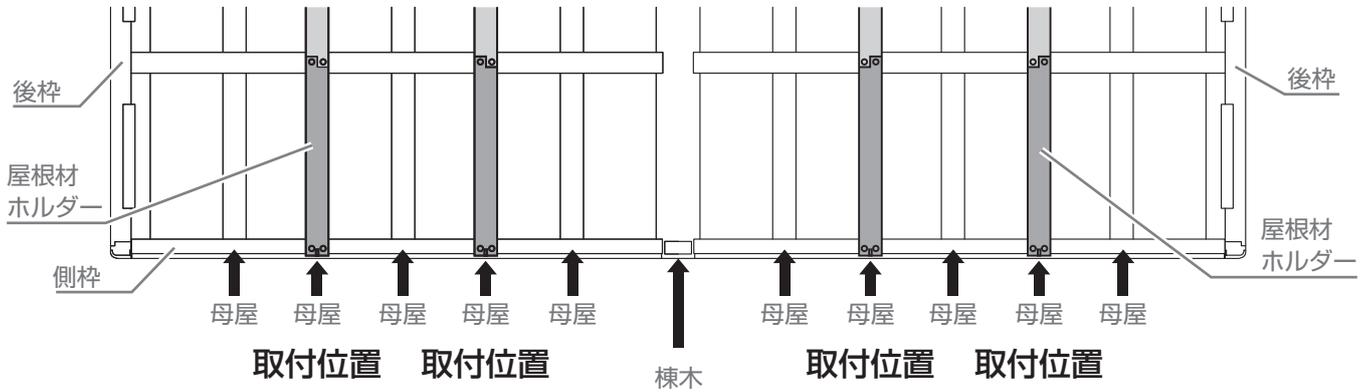
1-13 屋根材の取付け

1-13-5 屋根材ホルダーの取付け

1: 屋根材ホルダーの取付け位置を確認

お願い

- 屋根材ホルダーは後枠側から数えて2本目、4本目の母屋の真上の位置に設置するようにしてください。(全サイズ共通)



2: 屋根材ホルダーを側枠に【10-1】で取付け

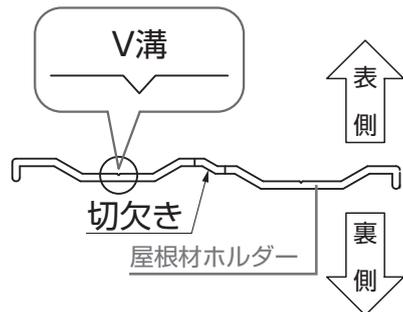
3: 屋根材ホルダーをすでに取付けている屋根材ホルダーに差込み

補足

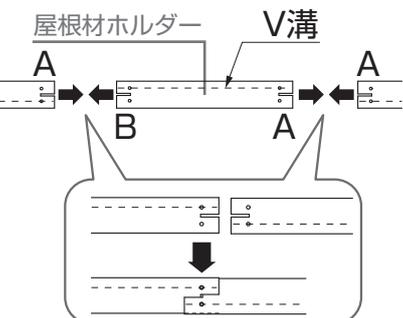
- 側枠カバーには、屋根材ホルダー取付用の穴はあいていません。

お願い

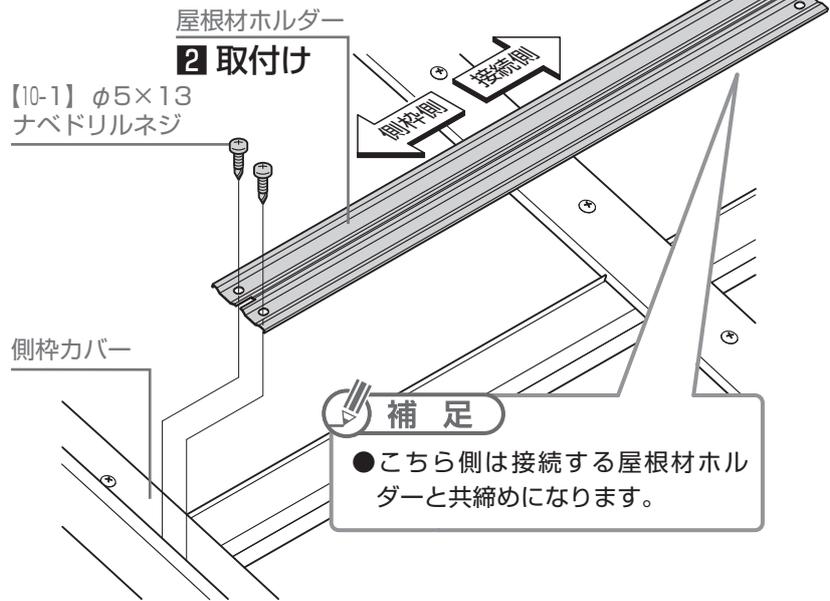
- 屋根材ホルダーの表裏に注意してください。



- 2本目以後の取付けは、V溝を点対象の位置にして組付けてください。



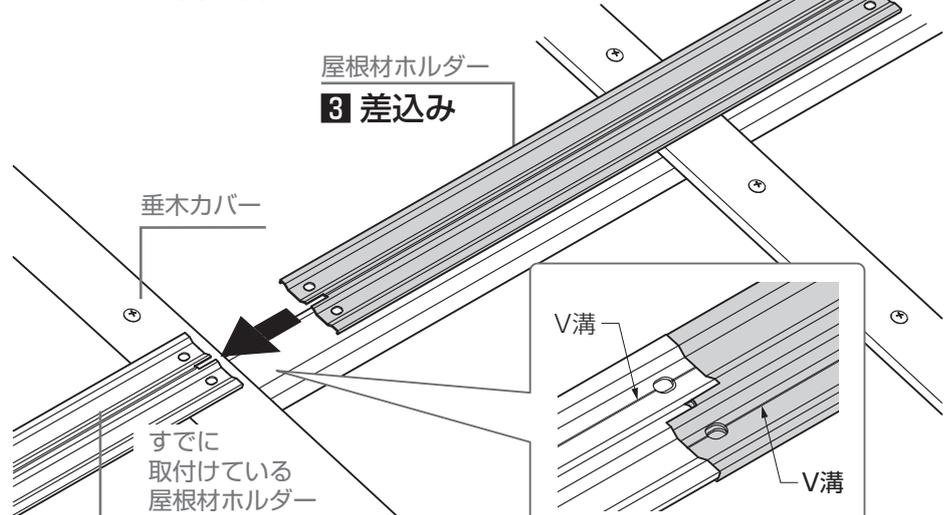
●1スパン目



補足

- こちら側は接続する屋根材ホルダーと共締めになります。

●2スパン目以降



1 基本タイプの施工方法

1-13 屋根材の取付け

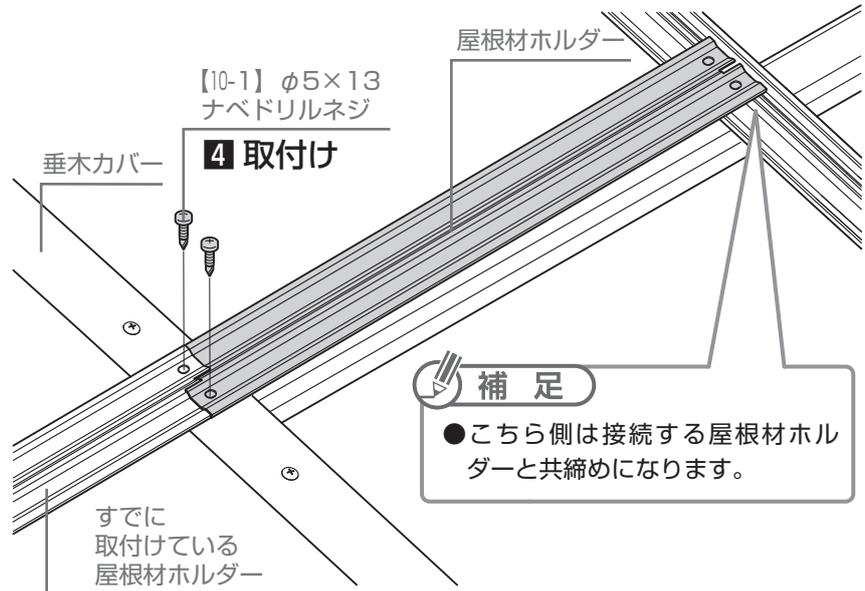
1-13-5 屋根材ホルダーの取付け

つづき

4: 屋根材ホルダーと垂木カバーを【10-1】で取付け

お願い

- 以降の屋根材ホルダーは繰り返しの手順で取付けてください。



1 基本タイプの施工方法

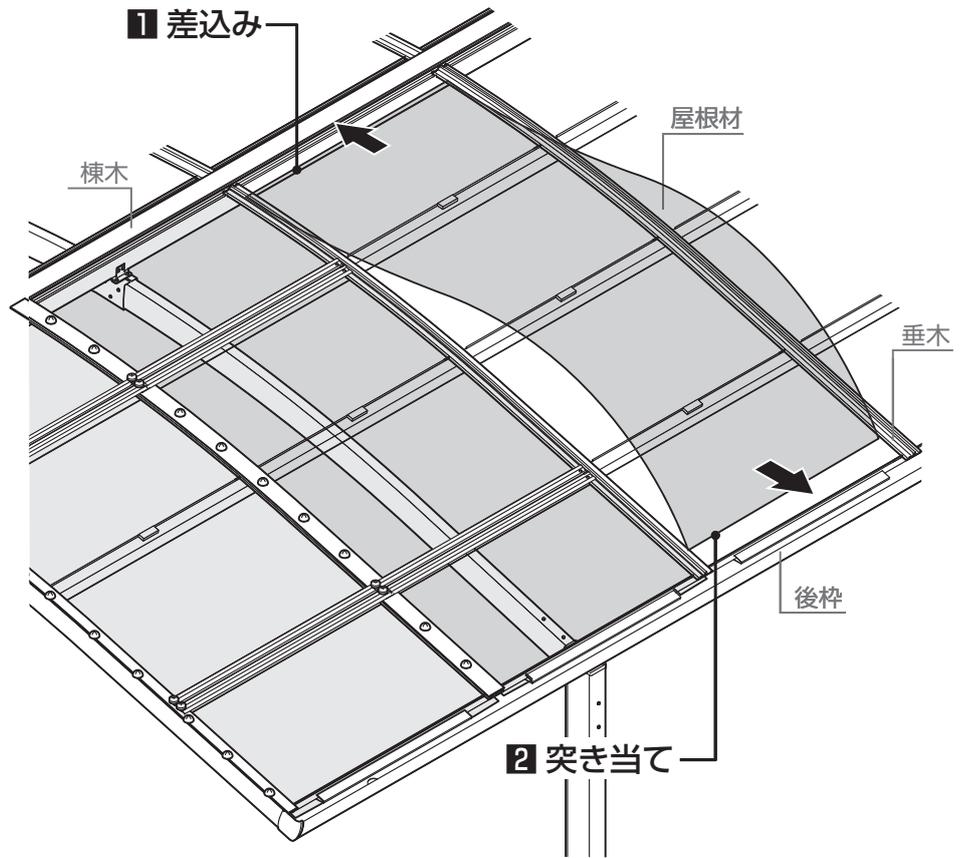
1-13 屋根材の取付け

1-13-6 屋根材の取付け (3枚目)



P.19 基本的に屋根材の取付けは1枚目と同様です。詳細に関しては【P.19】を参照してください。

- 1: 屋根材を棟木に差込み
- 2: 屋根材を後枠の屋根材受けに突き当て



1-13-7 垂木カバーの取付け (2本目)

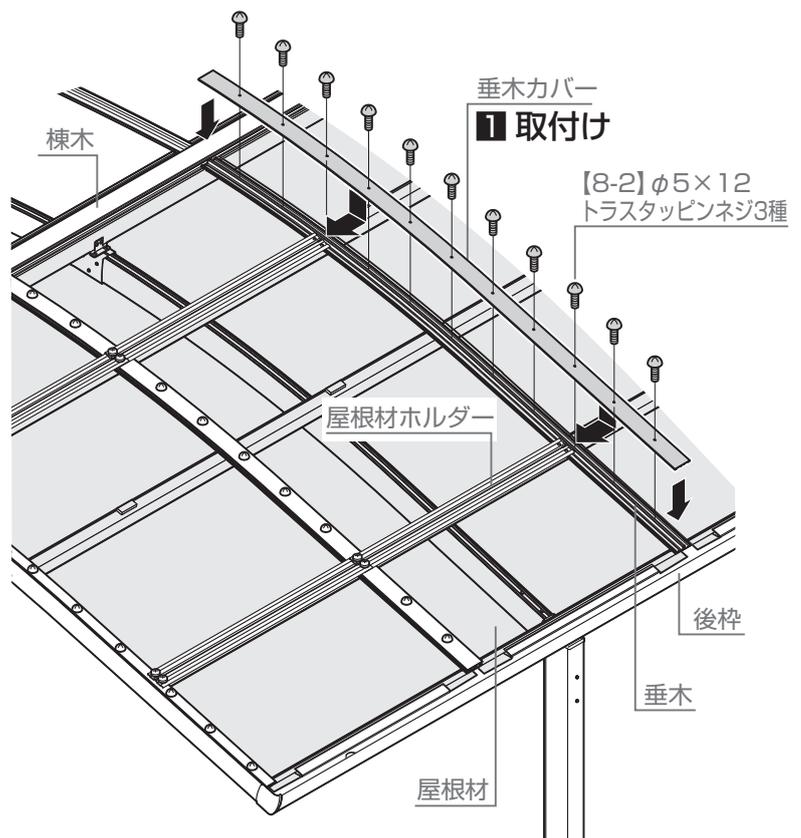
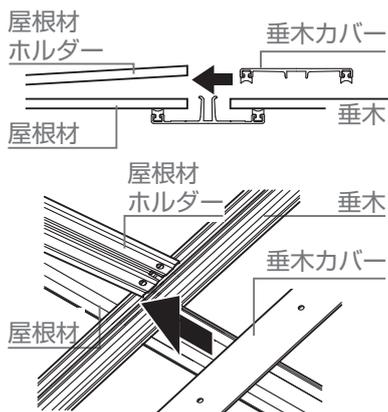


P.20 垂木カバーの取付けは1本目と同様です。詳細に関してはP.20を参照してください。

- 1: 垂木カバーを垂木に【8-2】で取付け

お願い

- 屋根材カバーを持ち上げて垂木カバーをはめ込んでください。



1 基本タイプの施工方法

1-13 屋根材の取付け

1-13-8 垂木カバー（2本目）のシーリング

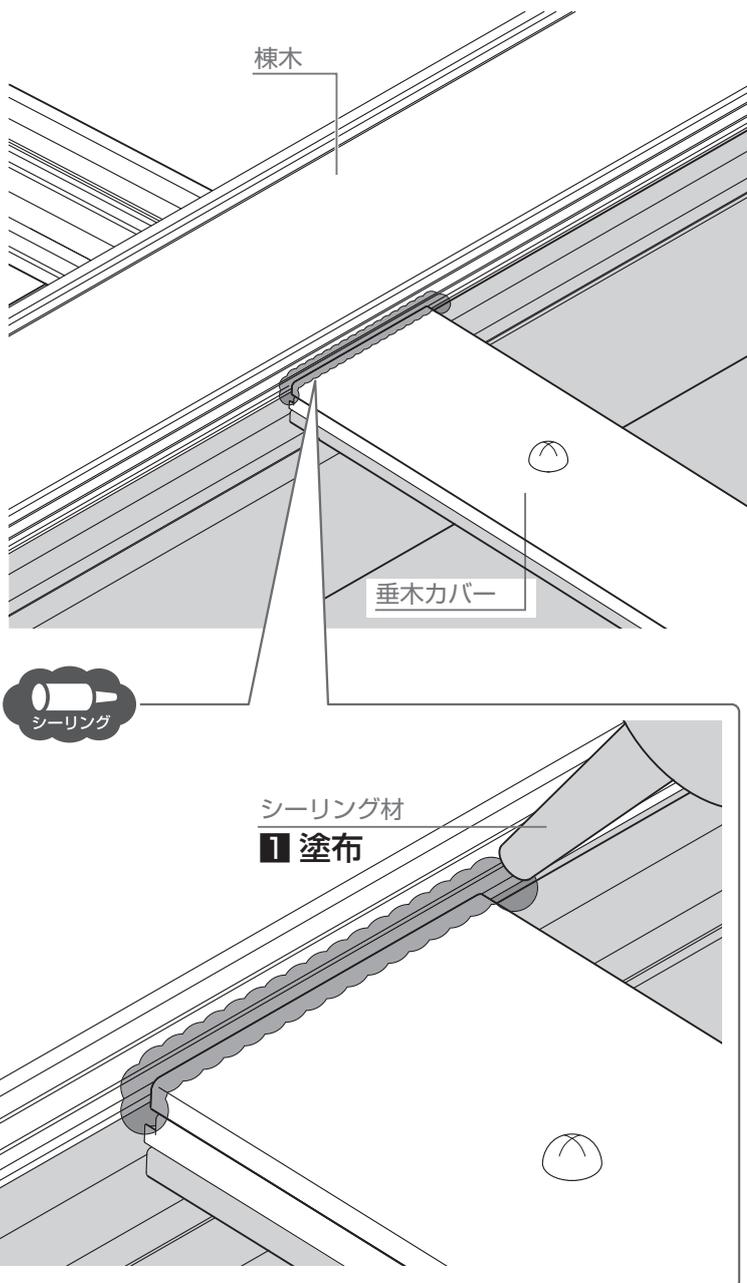
1: 垂木カバーと棟木接合部にシーリングを塗布

お願い

- シーリングはヘラ等で確実に押さえてください。
- パネルまでシーリングが届いているようにしてください。

補足

- 反対側も同じ施工手順です。



1-13-9 以降の施工について

お願い

- 以降は以下の手順を繰り返し屋根材を取付けてください。

4. 屋根材ホルダーの取付け (2スパン目)	5. 屋根材の取付け (3枚目)	6. 垂木カバーの取付け (2本目)
P.22	P.24	P.24

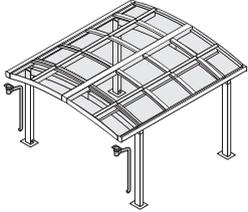
1 基本タイプの施工方法

1-14 縦樋の取付け

スマート雨樋の取付けの場合は、【スマート雨樋 取付説明書(D608)】も参照してください。

補足

● 縦樋は左側と右側の柱に取り付けます。



1: 縦樋を切断

お願い



柱位置を移動して施工の場合

● 柱移動距離にあわせて、L寸法を変更してください。

2: 雨樋パッキンと雨樋アタッチメントを後枠の水抜き穴に【8-2】で取付け

3: 雨樋穴ふさぎキャップと雨樋パッキンを後枠の水抜き穴に【8-2】で取付け

お願い

● 使用しない水抜き穴は雨樋穴ふさぎキャップを取付けて塞いでください。

4: 【8-2】のネジ先にシーリングを塗布

5: でんでんを柱に【8-3】で取付け

6: 雨樋アタッチメントに接着剤を塗布

7: ドレンエルボを雨樋アタッチメントに取付け

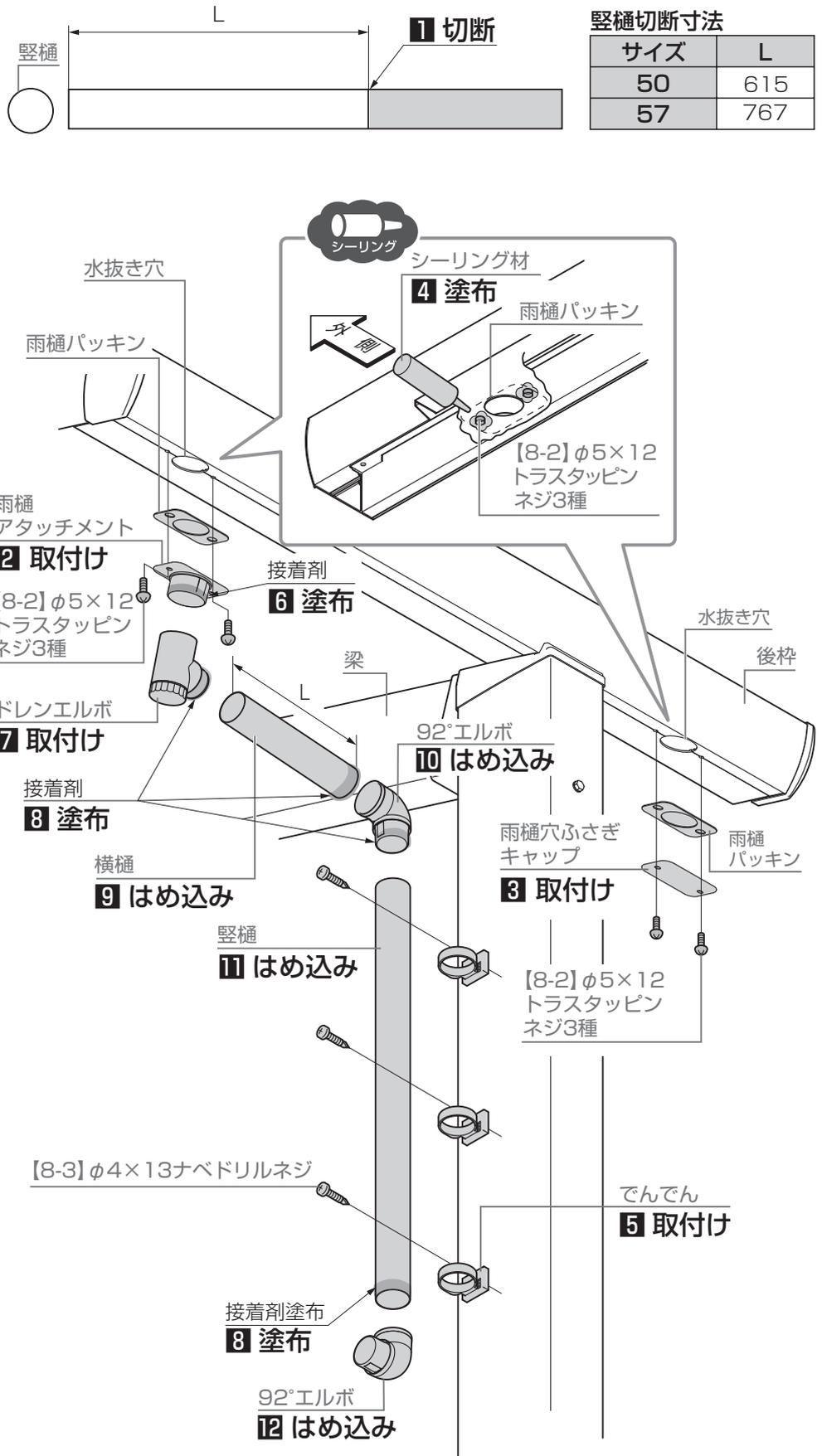
8: ドレンエルボ、92°エルボ、縦樋に接着剤を塗布

9: 横樋をドレンエルボにはめ込み

10: 92°エルボを横樋にはめ込み

11: 縦樋を92°エルボにはめ込み

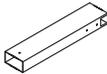
12: 92°エルボを縦樋にはめ込み

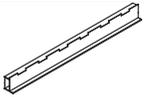


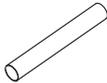
縦樋切断寸法

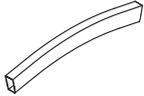
サイズ	L
50	615
57	767

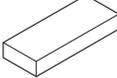
梱包明細表

【1】 柱セット		
名 称	略 図	員 数
柱		1

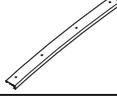
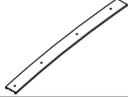
【2】 母屋セット		
名 称	略 図	員 数
		50・57 型
母屋		5

【3】 後枠セット		
名 称	略 図	員 数
		50・57 型
後枠		2
樋樋		2

【4】 梁セット		
名 称	略 図	員 数
梁		1

【8】 組立て部品セット			
名 称	略 図	員 数	
		L50	L57
ドレンエルボ φ40用		2	2
92° エルボ φ40用		4	4
でんでん		6	6
雨樋アタッチメント		2	2
雨樋穴塞ぎキャップ		2	2
雨樋パッキン		4	4
パネル緩衝材		80	80
接着剤		1	1

【5】 棟木セット			
名 称	略 図	員 数	
		50 型	57 型
棟木		1	1

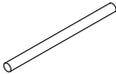
【6】 幅セット			
名 称	略 図	員 数	
		50 型	57 型
側枠 R		1	1
側枠 L		1	1
側枠カバー		2	2
垂木		6	7
垂木カバー		6	7

【7】 ブラケットセット		
名 称	略 図	員 数
		1 本入
ブラケットセット		1

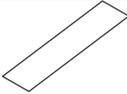
【8】 組立て部品セット			
名 称	略 図	員 数	
		L50	L57
後枠コーナーキャップ R		2	2
後枠コーナーキャップ L		2	2
梁連結金具		4	4
柱キャップ		4	4
柱梁カバー		4	4
柱梁カバー用両面テープ		4	4
棟木キャップ		2	2
棟木取付金具		4	4

梱包明細表

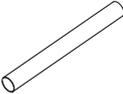
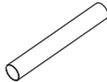
【8】 組立て部品セット (つづき)

名 称	略 図	員 数			
		W72		W80	
		L50	L57	L50	L57
φ8×200 アンカー棒		4	4	4	4
穴隠しシールφ10		56	56	56	56
【8-1】 M8×20 六角ボルト PW (緩み止め付)		28	28	28	28
【8-2】 φ5×12 トラストッピンネジ 3 種		678	732	678	732
【8-3】 φ4×13 ナベドリルネジ		7	7	7	7
【8-4】 M10×100 六角ボルト		12	12	12	12
【8-5】 M10 用平座金		24	24	24	24
【8-6】 M10 バネ座金		24	24	24	24
【8-7】 M10 用袋ナット		12	12	12	12
取扱説明書 (UD125)	—	1	1	1	1
取付説明書 (D678)	—	1	1	1	1

【9】 屋根パネルセット

名 称	略 図	員 数	
		1 本入	2 本入
屋根パネル		1	2

【11】 縦樋セット

名 称	略 図	員 数	
		L3100	L1000
縦樋 L=3100 φ40		1	—
縦樋 L=1000 φ40		—	1

【10】 屋根材ホルダーセット

名 称	略 図	員 数	
		7 本入 (50 型)	8 本入 (57 型)
屋根材ホルダー		7	8
【10-1】 φ5×13 ナベドリルネジ		26	26
取付説明書	—	1	1

取説コード

D678

JZZ636646
202012A_1049